水産試験場トイレ洋式化改修工事

	図 面 リ ス ト	
図面番号	図 面 名 称	縮尺
M− 0∕ 5	表紙、図面リスト	
1 / 5	機械設備工事特記仕様書(1)	
2⁄5	機械設備工事特記仕様書(2)	
3⁄5	配置図、附近見取図	1:400
4⁄5	衛生設備 器具表、1階平面詳細図(改修後・撤去)	1:50
5/ 5	衛生設備 器具表、1階天伏図、2階平面詳細図(改修後・撤去)	1:50
E- 1/ 4	電気設備工事特記仕様書(1)	
2⁄4	電気設備工事特記仕様書(2)	
3⁄4	幹線設備 分電盤結線図(改修後)	
4 ⁄ 4	電灯・コンセント設備 1・2階平面図(改修後)	1:100

有限会社 4名 山 設	
鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1 一級建築士事務所 登録第05-1356号	

DRAWING CHECK 休村

計

^{音尺} A2: — — 設計年月日 R6.02

工事名称 図面名称 表紙、図面リスト





M - 0/5

水産試験場トイレ洋式化改修工事

	Ⅱ.特記仕様			次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
機械設備工事特記仕様書				区分名称 部
	1 — 般 事 項 (1)現場說明書、質問回答書、	特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、	● 般	※ 完成図 原図 - 原紙 (※) CADデータ (※) PDFデータ 施工図 - 原紙 ・ CADデータ (※) PDFデータ
エ 事 概 要	 ・印の付いたものによる ・〇 〇 〇 〇 〇 世 建築工事標準仕様 		共	◎完成図 ※
1 工事場所 境港市竹内団地		書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「構準仕様書」という。) 4.株実(機械9.焼下車線)、(今和4年版)(以下「動体標準件様実」という。)	通	※ 完成図 2つ折製本 (※)完成図(縮小版)
2. 建物概要		仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) 図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)	事	
番号 建物名称 構造 階数 建築基準法による 証<面積(m)	1	図(www.comuー宇棚)(マヤルキキMD)(以下「保平因」という。) 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	· ·	※ A 4版市販ファイル ※ 主要機器図 ●
1 本館 RC 2 1,395.90 (15)項	1	1. 電力車時多の「酸化設備工事車は11日」(FAR4 年前に)」(以下「車は11日」」という。)と週内する。 事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。	項	● A 4 版黒表紙製本 (※)試験成績書
2 ()項				※ 保守用説明書 ※ 保守用説明書 ※ ※ 機器取扱説明書 ※
3 ()項 4 ()項	2 特 記 事 項			(A4版ファイル) ※ 主要機器一覧表
5 () Ţ	(1)項目は番号に○印の付し (2)特記事項のうち選択する■	いたものを適用する。 事項は ◎ 印の付いたものを適用する。		※保証書
3 工事種目 (③ 印の付いたものが対象工事種目)		※ 印の付いたものを適用する。 ④ 印と ⑧ 印の付いた場合は両方を適用する。		 ※ 官公署の届出書類 ● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。
	(3) 一般共通事項のうち () 項は、 ● 建 築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。		他工事との取り合い 建 築 電気設備機
		1		スリーブ・箱入 ● ●
 空気調和設備 冷暖房設備 □ 	項目	特記事項 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。		 ■ コンクリート壁、床、梁貫通部 補強※●
● 换 気 設 備	1	エ事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者		
● 排 煙 設 備	_	の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の		・ 照明協会・FFRK年の用サバルド用コンサード(くど処理会) ・ ※ ・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ・ ※
 ●自動制御設備 ●衛生器具設備 ○ 		資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家 田雪雪工作物の場合と同様の業務を行うまのとすろ		 ● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強 仮 枠 ● ※
	-	用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。		補強※●
	共 ④発生材の分析及び処理			切り込み・
● 給 湯 設 備 ● ガ ス 設 備		※ 無し ● 有り () 21歳1 ち亜オス + のいめけ 株め袋山湾切加囲 レナス		 ● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強 補強※ ●
→ 淬 k 檣 設 備 k k k k k k k k k k k k k k k k k k		引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物		
) 消火設備		※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う		• 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む) ※ • • 天井点検口 ※ •
さく井設備 一	項	(● 廃石綿(配管用保温材)● PCB使用機器 ●))		・ 機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ・ ・
 ●電気設備工事 ●建築工事 		アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物)は関係法令に従い適切に処理 を行う。		屋上設置 ※ ●
•]	PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。		・機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ・ ・機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ・
↓ 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)		撤去予定機器の微量 P C B 分析 ※ 無し ● 有り またまでいた == 2 + 2 = 2	(15)工事用水・雷カ・その州	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
 印の付いたものを適用する。 		再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)		
項目 設備概要	5機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。		※ 工事表示板 ● お願い表示板
 ● 空 気 調 和 設 備 ● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式 		ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあ		900 1,200
● 冷 暖 房 設 備 ● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式		らかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。		
空 気 ● 暖 房 設 備 ● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式)) ● 床暖房	- - - - - - 他 材 の 品 質 ・ 性 能 証 明			
調 和 ● 熱 源 ● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス		及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される		工事名 0000016歳正事 ?と終記号 令和00年0月工事完成予定 構造・規模(鉄筋コンクリート造(0開進) STR6.5/11 倍和00年0月工事完成予定 延心面前0000m2 11 簡単なパース、又は立面図を掲載する
 ・ ・ ・ (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in)	(7)機材の承諾図	製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。		工事期間 令和〇年〇月から〇年〇月まで 設計者 〇〇〇〇〇〇〇設計 (拡大カラーコピーを張り付けてもよい)
・ ●	8図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。		ご 監理者 0008年8西環道建築局建築住宅道 000000000000000000000000000000000000
方 段 ● 主 要 熱 源 機 器 ● 直だき吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット	9 電 気 容 量 及 び 機 器 表 示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。		連絡先星間 OO-OOOO G OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO
	(10)技能+の適田	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施		現場責任者 OO OO 島取県OO総合事務所環境建築局 地色 白 現在の進捗率OO%
 ・ ヒートポンプパッケージェアコン(マルチタイプ ● 有 ● 無) 		「こので、ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・		建築住宅課 OO担当 事業協力のお願い 連絡先 OO-OOOO 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解と
● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● その他 ())		着用する。		ニー 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
換 気 設 備 ● 第一種 ● 第二種 ● 第三種		● 配管 (● 1 級 ● 2 級) ● 熱總緣施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 冷凍空気調和機器施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 建築板金 (● 1 級 ● 2 級)		1. 書体は角ゴシックとする。 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 ^{他上田} 道能方、TEL 00-0000 <u></u> 発注者 鳥取賞 00歳年初所環境違葉局 ^{建造} 産品な業 00担当 ^株
排 煙 設 備 ● 機械排煙(適用法規 ● 建基法 ● 消防法)				2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 建産生宅課 OO担当 監督員が指示するものとする。 TEL OO-OOOO
自動制御設備 ●電気式 ●電子式 ●デジタル式		(技能士名札参考図)	17 足 場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「
 余 水 方 式 ● 水道直結方式 (●)高置水槽方式 ● ポンブ直送方式 ● 増圧給水方式 				行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足 より行う。
			(18)工 事 用 仮 設 物	構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない (一般水槽)
		E C A の の	19 土 工 事	 (ア)埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土(● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● はいわの菜()
		勤務先 OO工務店 自 宅 鳥取市 技能士本人の住所地		 ● 山砂の類() ● 真砂土 ()
汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽		写真(30×40程度) 技能士番号 00-0-000-00000 主要事項(職種、作業名、級別、 氏名、住所地、技能辻番号、発 行 000000000 発行000000000 回 名札の発行元 注要事項(職種、作業名、級別、 氏名、住所地、技能辻番号、発		
●排水設備 放流先 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽		90 mm 名札の発行元 行元、本人写真)が記載してあ ればレイアウトは問わない。	20保温工事	● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●
雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川	(11)施工図等			 ● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ● ● 総水管 (● ロックウール ● グラスウール (●)ポリスチレンフォーム
· □	112完成写真等	(注山じた肥工凶等の者)下催に味りる当該座前に成る広田権は先正者に移該するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、		 保温チューブ(厚さ@)
		監督職員の指示による。下記のものを提出する。		● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ10t
		区分 分類・規格 撮影箇所 部数 電子データの提出 工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※1部 部 ④要 ● 不要		 ● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ(厚さ@) ● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●
● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクテー ● かぼれ ● 秋天水学 ● 連結散水		上事 与 具 カラーサービス判 谷上裡上程母 ※ 1 部 ● 部 ● 受要 ● 不要 完成 写 真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2 部 ● 部 ● 要 ● 不要	鳥取県	● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●
 ● 消 火 設 備 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火(● 窒素 ● 窒素 ●)) ● ハロゲン化物消火 			令和5年度	● 燃焼熱源等機械室内の配管(● ロックウール ● グラスウール)
			J 2 3 0 1 9 9 3	● 全熱交換機の給気ダクト(● 機器外気側 ● 機器室内側)は保温(グラスウール25mm厚)する。
 ・ガ ス 設 備 ●都市ガス(MJ/Nm³) ●液化石油ガス 			西部環境建築局	 ◆ 冷媒管の保温外装 屋内(● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● 屋外(● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●
	有限会社會自由	これでは、 CHECK DRAWING 構定 A2:	工事名称水産試験	図画番4
			小庄的歌	
	鳥取県米子市両三柳 7		図面名称	

21 鋼 管 類 の 防 食 処 置	地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート	1	1 設計用温湿度条件	
— 22 絶 縁 継 手	● 標準図(施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン			→ 「「「「「」」」 → 「「」」 → 「」 → 「」 → 「」 → 「」 →
般 23 防 振 継 手	※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製)	空気		
24 伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形	調		(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH) (%
25 塗 装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)	和		
通	(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		夏季 C % C % C % 冬季 ℃ % ℃ % ℃ %
事	(ウ) 亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ) 亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類			
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面		2 冷 却 水 管	※ SGP (白) • SGP - VA • SGP - PA ⑤温水洗浄便座洗浄
項	(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面	2	3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP (白) ● SGP - H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304) 6 器 具 と 排 水 管 接 続 ※ #
	 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面	冷		
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	暖	4 膨張・空気抜・補給水管	※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304) (7)
	 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所(保温を行わない露出鋼管外面) 	一方設	5蒸気給気管	※ SGP (黒) 給 (2)配 管 材 料 (7)-
26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。	備	6蒸気還水管	*** STPG370-Sch40(里) • ステンレス細管(SUS304) 水 水 水
20 X / ジレス 新吉の 及日 方法 27 溶 接 配 管 の 検 査	 ・ ガス配管 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷温水配管 		7油•油用通気管	- 般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 設 (イ):
27 倍 按 能 皆 07 換 重		3	7 ////////////////////////////////////	- 版記 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	非破壊検査の適用(● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3		
	抜 取 率(●標準仕様書による ● %)	換	9空調用給水管	
28 埋 設 表 示	 ● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	いた	10 空 調 用 排 水 管	※ SGP (白) • VP • カラーVP (エ)キ
	● 埋設表示用テーブを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)	備	11 弁 類	× 5K • 10K (7)
(29)支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。		12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。 (カ)7
	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。		13ダンパー	(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 3 弁 類 ※ [
30 総 合 試 運 転 調 整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。			 (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●
	● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騷音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質		14ダ クト	※低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 4
	● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 (● 一般飲料水適否検査 ●)			● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法(動作用電圧(電流は2DFに2注工法 0). 7 A以下とする。) 4 水 槽 の マ ン ホ ー ル 屋外(
	● その他水質等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●)			(長辺1500mmを超えるものはアングルフランジエ法とする。) 1配 管 材 料 (ア)
③1)アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。			 アングルフランジエ法 (1)
-	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等			●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 排
	建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲		15 吹 出 口 ・ 吸 込 口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製 水 (ウ)ァ
	アスファルト防水 Mー5 参照		16チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。 設 (エ) 道
				接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 備 (オ)
				線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンバーを設ける。
	※ 宗有肥設の石釉原云寺に床る肥工来有の豆球制度による豆球を支げている来有を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する			****(秋田田には、(長さ+100) × 300 × 300 の夜歌チャンパーを取りる。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 2 満 水 試 験 継 手 3 階以
	※ 自公者での他への手続さは、向社体書はか、方面安主衛主法、入気汚染的正法、廃業物の処理及の清価に関する 法律、石綿障害予防規則、烏取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。		 17消音内貼り	小型に回りのカブリにデャンパー等を取りる場合には、附小等を自然に併出できるよう勾配をつける。 2 滴 小 畝 被 様 子 3 幅と 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 3 パイプシャフト内配管の保温 ※ 前
			/川 百 14 15 9	
	● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 ○ 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。			吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。 4 注 説 数 7
	分析方法はJISA 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。		18 瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式 9 9
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。			下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
	(測定時期: 測定場所: 測定点:)			 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 湯
	 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 			 ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 満 ・ 2 ・ ・
	● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。			 ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
	対象箇所(● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 1 配 管 材 料 (ア)-
③2)補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。			
③は つ り	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。		 19 定風量・変風量ユニット	 エーットルを式調査(1000)ホニホスロ (ウ)ま メカニカル形 ●風速センサー形 (ウ)ま
34 はつり工事における非破壊検査	探查方法 ※電磁誘導式 • 放射線透過検查			
- 35 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。		20温度計	機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ● ガード付∟形温度計 設 3 保 温 (ア)□
(36)火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。		21 冷 温 水 管 の 空 気 抜 き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 備 (イ)3
\mathbf{C}	 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)			※ 手動 • 自動 (ウ)目
37 グ リ ー ン 購 入	グリーン購入は次のもとのする。			自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))
	 空調用機器 (マルチェアュン(18馬カ未満)) ● 衛生器具 (機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 ●
	 ● 断熱材 (● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管)	22 空 調 機 用 ト ラ ッ プ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 4 屋 内 消 火 栓 ● J
	 その他 ())	23 鋼 板 製 煙 道	材質及び厚さ ● SS400 (※ 3. 2mm ● 4. 5mm) ● SUS (※ 1. 5mm ● 2. 0mm) 5 ガス系消火剤の種類 ● 3
38 鳥取県公共工事環境配慮指針				煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける
	対象工事			煤じん量測定口(80 φ × 2) ※ 取付ける ● 取付けない
39建築物省工ネ法			24 オイルサービスタンク	油面計はゲージ式 (側圧計) とする。 11 都 市 ガ ス 設 備 都市ガ ス 設 備 都市ガ ス 設 備 (都市カ) (一)
40 耐 震 施 工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1 k N 以下の一般機器について、製造		25 地 下 オ イ ル タ ン ク	据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重設タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り) ガ 2 配 管 材 料 (ア)-
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。			タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト
	 (1) 機器の据付け及び取付け 			基礎抗 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) スパープ (ウ):
	設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN]に、			
	地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。			エ面の上手 ・ そ ・ 小安 備 備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	設計用標準水平震度 ● 特定の施設 ● 一般の施設		26 油 兩 制 ⁄细 壮 罒	メングローリー用アース油于を取りる。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● (4 パ ル ク 貯 槽 ● 約
	設置場所 機器種別 ● 重要機器 ● 一般機器 ● 一般機器		20 油 面 制 御 装 直 27 フィルター等付属品	油面制御装直の機能 ● 給油ホジノの起動停止 ● 渦油音報 ● 減油音報 ● ● 機器表特記による。
	上 層 階 機器 2.0 1.5 1.5 1.0		21 ノ 1 ルフ 一 寺 11 馮 品	6 容 器 転 倒 防 止 ● 札
	屋上、塔屋 防振設置機器 2.0 2.0 2.0 1.5 水< 槽類 2.0 1.5 1.0 </th <th></th> <th>00 . S</th> <th> ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 7 ガス漏れ警報器● 7 </th>		00 . S	 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 7 ガス漏れ警報器● 7
	機器 1.5 1.0 1.0 0.6			インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。
	中間階 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0		29防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 12
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6	4		※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm) 净
	機器 1.0 0.6 0.6 0.4	排	2排 煙 口	形状 ・バネル形 ・スリット形 ・ダンバー形 化 2型 式 ・
	地階・1階 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	煙		取付け ● 天井取付 ● 壁取付 増増 3 処 理 能 カ ● ダ
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階	設備	3 排煙口開放及び復帰方式	
	上層階の定義 2~6階建:或工階、7~9階建:工層2階、10~12階建:工層3階、13階建以工:工層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	EHM -	4 排 煙 風 量 測 定	建築設備定期検査業務基準書2016年版((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 備 備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		5	1 中央監視制御盤装置	 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し
	重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置	_自	2 電 源 装 置	● 要(● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 5 排 水 方 式 ※ E
	 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 ・ 水槽類(燃料小出槽を含む) 	動	3 温 度 調 節 器 等	取付高さ ※ 1 3 0 0 mm ● mm
		制	4計装工事の配線	 ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 7 土 留 め 工 事 ● 2
	(2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	御設		● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 8 マ ン ホ ー ル ふ た 8 ※ 3
	(3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	備		9 消 毒 薬 3 ヶ f
	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。			
				ー CHECK DRAWING 縮尺 工事名称
	─────────────────────────────────────	会社	t 亀 山	三〇 三十 A2: 水産試験場トイレジ
			県米子市両三柳724	
	Hamestana		LL築士事務所 登録第05-	田山 1356号 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人
	4			

```
変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
小便器一体型 ● 小便器分離型
洗浄水量4リットル/回以下
個別感知方式 ( ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ) ● 手動式
〔供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池
⇒方式 (●)電気開閉式 ( ● センサー式 (●)タッチスイッチ式 )
 ● 手動式
用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式
標準図(施工64) • 標準図(施工65)
親メーター ※ 借用 • 買取 (※ 直読 • 遠隔表示 )
子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示 )

    ● HIVP
    ● 架橋ポリエチレン管

土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
 ● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)
特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
ビニル管の接合方法 ※接着接合 • ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。
ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※ 融着継手
口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
5K(受水槽以降の配管に使用)
● 10K(公営水道に直結する配管に使用)
公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。

        屋内汚水管
        ●
        V P
        ●
        R F - V P
        ●
        排水用塩ビライニング鋼管
        ●
        耐火二層管

        >
        屋内雑様水管
        ●
        V P
        ●
        R F - V P
        ●
        SG P (白)
        ●
        諸水用塩ビライニング鋼管

    ● 耐火二層管

ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手)

    通気管
    ● VP
    ● RF-VP
    ● SGP(白)
    ● 排水用塩ビライニング鋼管
    ○ 屋外排水管
    ● VP
    ● RF-VP
    ● VU(地中)
    ● REP-VU(地中)

  ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
似上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
保温付被覆銅管 ● 銅管
沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
5K • 10K
ー般配管 ● SGP(白) ● STPG
土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
10K • 16K
呼水タンク ※施工しない •施工する
充水タンク ※施工しない ●施工する
配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 ・ (ハ) ・Ⅷによる)
・屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する ) ● スプリンクラー用( ※ 施工しない ●施工する )
・連結送水用 (※ 施工しない ●施工する ) ● 連結散水用 ( ※ 施工しない ●施工する )
広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号 )
窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23
手動 ● 自動手動切替式
ガスはガス供給事業者の供給約款による。
一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管
土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
親メーター ※借用 ● 買取 (取付け ※別途 ● 本工事 )
子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途 )
総型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
標準図(施工73)の • 要領(a) • 要領(b) • 要領(c)
標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b)
不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )
小規模合併処理( ● 分離接触ばっ気方式  ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式  ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式

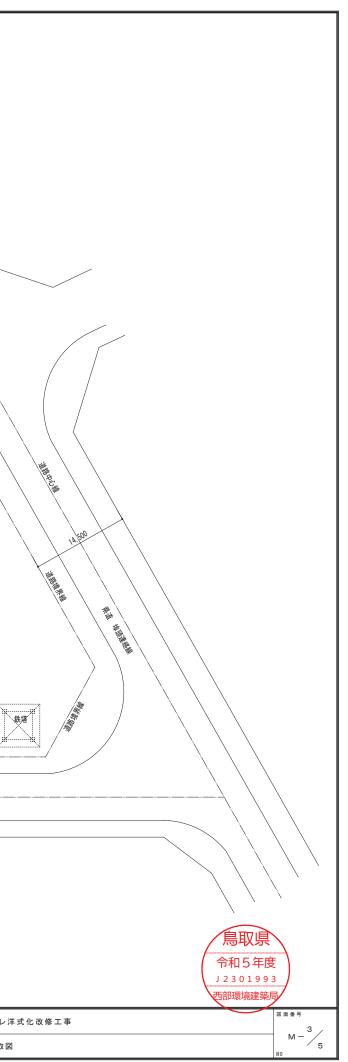
    その他性能評価を受けた方式())

合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 )
ユニット型 ● 現場施工型
処理対象人員 人
                ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d
流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
T-N mg/L以下 • T-P mg/L以下
自然流下● ポンプ排水

    砂 
    ● 根切土の中の良質土

                                  鳥取県
不要 ● 要 (図示による)
製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)
                                令和5年度
日相当分を納入する。
                                J 2 3 0 1 9 9 3
                                西部環境建築局
                                          図面番号
洋式化改修工事
                                           м – 2
                                                5
仕様書(2)
```

N <工事場所> 水産試験場 N <工事場所> 水産試験場 N ジンブバー 美保湾 回道431号線 -加生泉 マり、ナル・コー - モル・コー - モル・コー - ・ -	
ゆし 公共マリーナ	道路中心線 88
\$ 	県道 竹内埠頭背後線 1 歩道 道路境界線
附近見取図	道路境外線
工事概要 ・本館1、2階便所計4ヶ所の和風大便器を洋風大便器に改修する。 ・上記に伴い、天井改修、トイレブース扉の外開き改修、電気設備改修を行う。	Image: All and
	配置図 S=1:400 ※ 」は、今回工事対象範囲を示す。



衛生器具家	長 (改修後)		
名 称	参考品番	仕 様 ・ 付 属 品(参考品番:LIXIL)	設置室名
洋風大便器	BC-P110HA (LIXIL)	DQ-PA150CH(クイックタンク式)、CW-PA21LQE-NE-R1(温水洗浄便座,貯湯式,便ふたあり,自動洗浄,	1 階男子トイレ×1、1 階女子トイレ×1
(リモデルタイプ)	CFS498BMK (TOTO)	リモコン,洗浄スイッチ,擬音装置付)、CF-020-SET(シャワートイレ分岐栓)、CF-63HST(棚付二連紙巻器)	

※掃除口無し、サイドカバーあり、床給水、床排水

数量		名
2		和風大便
	1	

									不成以前共同の代	引 こし再唯認し、奋兵衣と共なる場合は、監督員へ報	ロックず。
名	称	参考品番(LIXIL)	仕	様	•	付	属	品		設置室名	数量
加	大便器	C-15285	0F-510BU、5US製紙巻器							/階男子////////階女子///////	

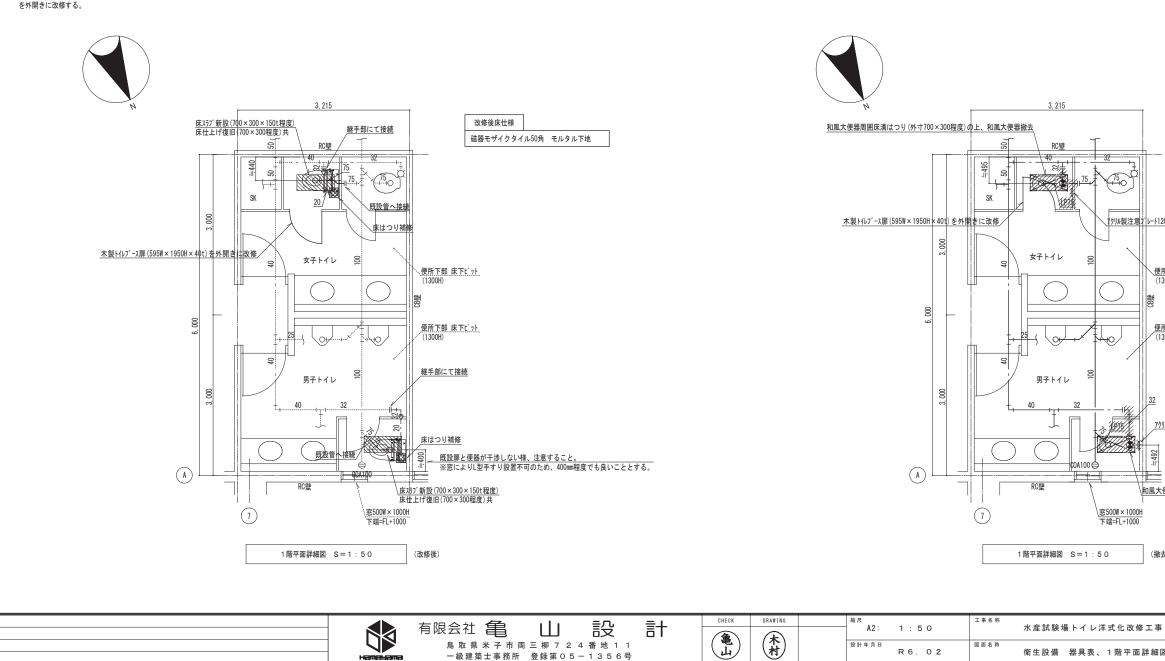
	既設管 凡例(※図中特記を優先する。)						
記号	名 称	備考	*2				
	給水管	SGP-VB	但				
	汚水・雑排水	VP (図中特記部:LP)	※図				
	通気管	VP	*施				
※管種等は現場にす	て再調査の事。		※既				
			×				

(撤去)

既設保温材質	※保温材質は、	現場にて再調査の事。
1. 給水管	ピット内	ポリスチレンフォーム 防水麻布+アスファルトプライマー
2. 給水管	天井内	ポリスチレンフォーム アルミガラスクロス化粧筒
3. 排水管	//	ポリスチレンフォーム アルミガラスクロス化粧筒

衛生器具表





※ブース扉の外開き変更に伴い、現場にてドアノブ・「洋式トイレ」表示プレート等必要部品の新設、

修方法を打合せし、施工に当たっては注意して施工を行うこと。

(1階・2階どちらかの便所を利用できる様に施工すること。)

を設置の上、工事を行うこと。

設設備を事前確認して施工すること。

※既設床等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行うこと。既設梁の貫通は不可とする。

(スラブ·耐震壁等で鉄筋切断となる場合は、監督員と打合せのこと。)

※屋内の必要箇所には、本工事にて足場等を設置し、安全に施工を行うこと。

ブースの既設ボルト穴及び扉のビス穴埋め、ブースの穴開け等を行う想定としているが、監督員と改

※施工箇所以外の他系統給排水設備が長期間利用できない状況とならない様、必要箇所に仮設プラグ等

※既設建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既

また、給水の断水、排水等の遮断ができる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工すること。

体 4 四 日 +

特記事項 (改修後共通)

※図中 ………… は、既設部を示す。

※図中 …I⊢ は、既設管への接続部を示す。

※図中 は、床スラブ及び仕上げの復旧範囲を示す。

※図中 🔀 は、床のはつり補修部を示す。(仕上げ補修共)

※図中 は、既設天井点検口(450×450)を示す。

※図中 は、既設天井材取外し・再取付(450×900程度)箇所を示す。

※図中の各品番・寸法は全て参考とし、メーカーを指定するものではない。

復旧時、既設コンクリート4面に差筋アンカー(D13@200)施工の上、配筋(D13@200シングルクロス)を行うこと。

※施工に先立ち、既設各配管等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工すること。

※既存テラゾーブロックブース、木製扉及び吊り金物等は全て再使用とし、図示箇所のブース扉の開き勝手

特記事項

※表中////は、撤去器具を示す。

※既設器具は現場にて再確認し、器具表と異なる場合は、監督員へ報告する事。

事項 (撤去共通)

図中///は、撤去部を示す。

但し、壁内・RC内等の撤去不可能な配管は、そのままとする。

図中 _____ は、床はつり後大便器撤去部を示す。

施工に先立ち、既設各配管等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工すること。 既設器具及び配管支持材等撤去部のボルト・ビス穴穴埋め補修は、本工事とする。

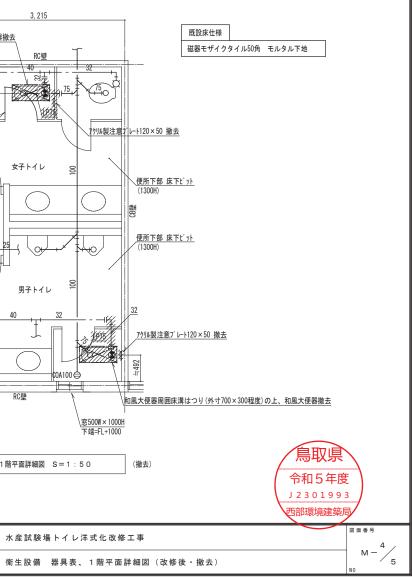
※トイレ内の養生を行い、粉塵の飛散防止に努めること。

※屋内の必要箇所には、本工事にて足場等を設置し、安全に施工を行うこと。

※撤去器具・配管等は、法令を遵守し適切に搬出・処分を行うこと。 ※施工箇所以外の他系統給排水設備が長期間利用できない状況とならない様、必要箇所に仮設プラグ等を 設置の上、工事を行うこと。

※既設建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設 設備を事前確認して施工すること。

また、給水の断水、排水等の遮断ができる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工すること。 (1階・2階どちらかの便所を利用できる様に施工すること。)



衛生器具表 (改修後)									
名称	参考品番	仕 様 ・ 付 属 品(参考品番:LIXIL)	設置室名	数量					
洋風大便器	BC-P110HA (LIXIL)	DQ-PA150CH(クイックタンク式)、CW-PA21LQE-NE-R1(温水洗浄便座,貯湯式,便ふたあり,自動洗浄,	2階男子トイレ×2	2					
(リモデルタイプ)	CFS498BMKT (TOTO)	リモコン,洗浄スイッチ,擬音装置付)、CF-020-SET(シャワートイレ分岐栓)、CF-63HST(棚付二連紙巻器)							
		※掃除ロ無し, サイドカバーあり, 床給水, 床排水							
		※低水圧仕様 (T0T0)							

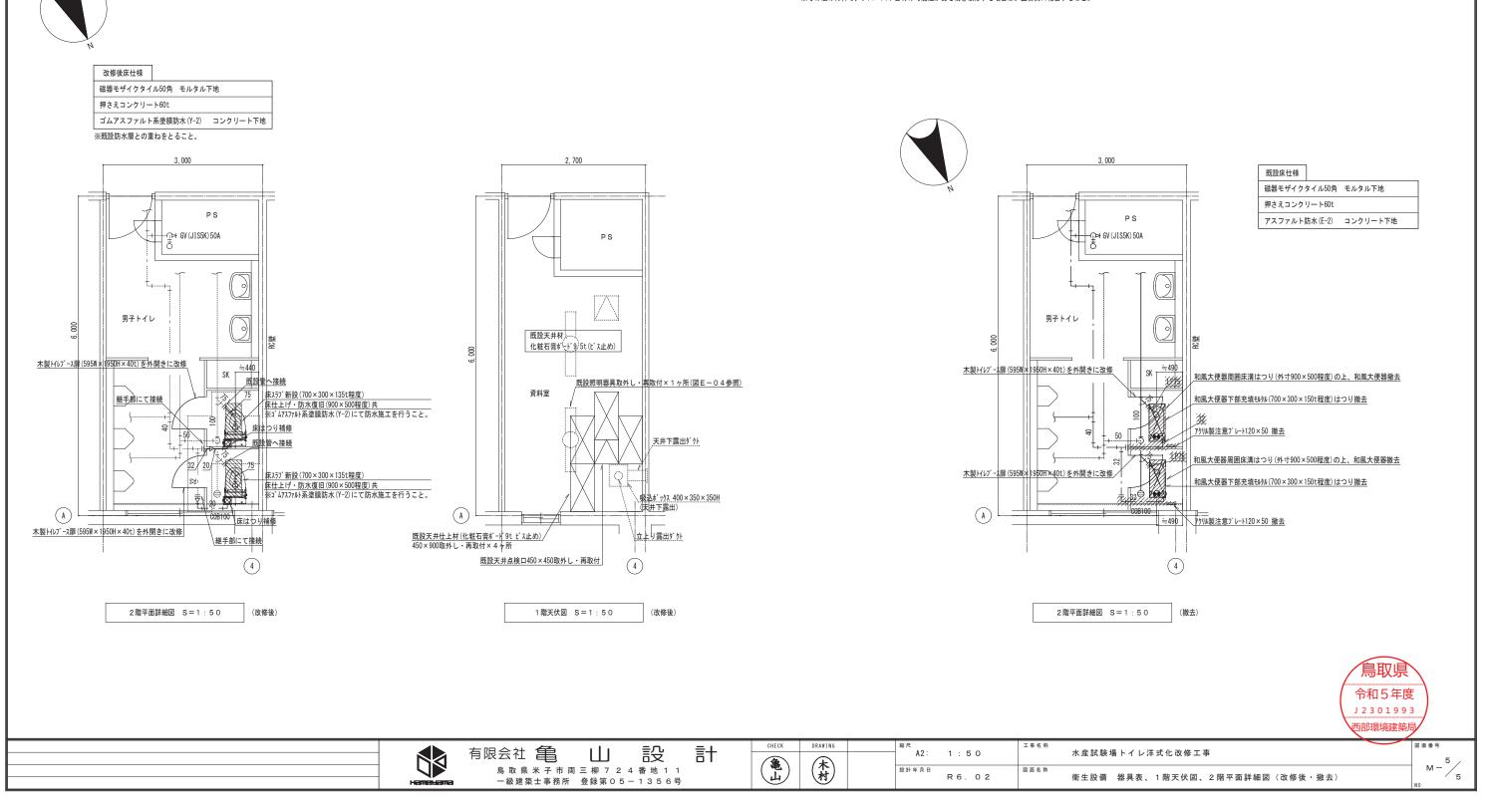
衛生器具表	長 (撤去)					
名 称	参考品番(LIXIL)	ſ	± 1	様 •	付	属
知風大便器	<u> </u>	紙疋W、SUS製紙巻器				

アスベストについて

※今回工事の対象となる場所のアスファルト防水には、アスペストが含有されている物として撤去・ 処分を見込んでおり、検体調査費は見込んでいない。

※和風大便器はつり撤去及び防水改修のための押さえコンクリートはつり時に、アスファルト防水が 和風大便器及びはつり取ったコンクリートに付着する場合は、アスベストが含有されている物として、法令を遵守し適切に施工・処分を行うこと。

※その他の材料で、アスベスト含有の可能性がある物を改修する場合は、監督員に報告すること。



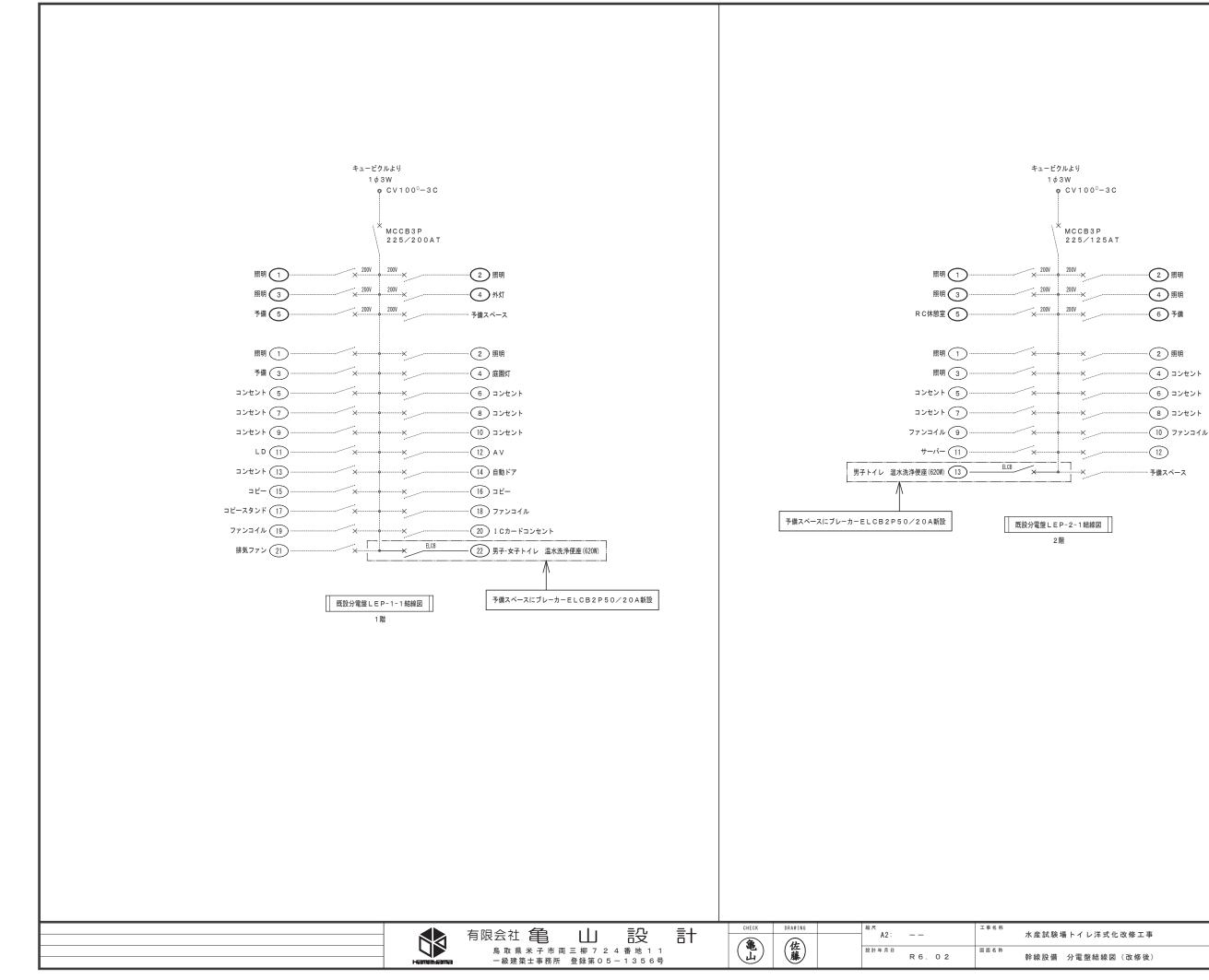


	項 目 特 記 事 項	6機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。
	電 ● 直 流 電 源 装 置 用 途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用		また、製造者等が定められている機材については、皿.機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、 これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ
┃	力 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 貯	股	監督職員に提出して承諾を受ける。
┃ ┃. エ 事 概 要	蔵 菡 電 池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● (Ah) 設 ● 交流 無 停 電 電源 装置 形 式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS	大	なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は
	備 (UPS)	通 ★ (7)機材の品質・性能証明	評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ、機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有すること
1 工事場所		項 。	の証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
2 建物概要	● 日 家 光 竜 装 直 竜 页 方 式 二怕 3 都式 ● b. b k V ● 2 1 0 V	8施工図等	
- <u> </u>	発 機器類形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オーブン形 電 発電機(kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン	9 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、 監督職員の指示による。下記のものを提出する。
1 本館 RC 2 1,395.9 (15)項	設 防 油 堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製(● 本工事 ● 別途工事)		<u> 国際員の11,1による。下記のそのど使出する。</u> 区分分気・規格撮影箇所 部 数 電子データの提出
2 ()項	備 ● 太 陽 光 発 電 装 置 モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ●		エ 事 写 真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※ 1部 ● 部 ● 要 ● 不要
3 ()) Ţ	● 風 力 発 電 装 置 風 車 ● プロペラ形 ●		完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 ● 部 ● 要 ● 不要
4 ()項 5 ()項	● 構 内 情 報 通 信 網 設 備 ● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線	10 完 成 図 等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
	● 構 内 交 換 設 備 ● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線		区分 名称 部数 完成図<
3 工事種目 (⑧ 印の付いたものが対象工事種目)	● 情報表示設備 ● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置		※ 完成図原図 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ
番号 1 2 3 4 5 屋外 備考	 ● 映像・音響設備 ● 増幅器 ● スピーカー ● ズロジェクタ ● スクリーン ● その他())) ● 拡 声 設備 用途 ● 一般放送 ● 個別放送 ● 個別放送 		※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 ※ 完成図(縮小版) ※ 2部
	通 ● 誘 導 支 援 設 備 ● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置		
● 動 力 設 備 ● <th< td=""><td>12 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール 信</td><td></td><td>※ 元内区音 ● 元内区 (細介hk) ※ 2部 ※ A 4版市販ファイル ※ 主要機器図 ※ 2部</td></th<>	12 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール 信		※ 元内区音 ● 元内区 (細介hk) ※ 2部 ※ A 4版市販ファイル ※ 主要機器図 ※ 2部
●電熱設備	□ ● テレビ共同受信設備 ● アンテナ(● UHF ● BS ● CS) ● CATV 報 ● 監視カメラ 設備 ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラブスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線		 ● A 4 版黑表紙製本 ※ 試験成績書
● 雷 保 護 設 備 ● 受 変 電 設 備	● 監 視 カ メ ラ 設 備 ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラブス VTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● 駐 車 場 管 制 設 備 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式		※ 保守に関する指導案内書 ※ 2部
● 受 変 範 設 備 ● <	備 ● 防犯・入退室管理設備 機器(●本工事 ※ 別途工事) 配管(※本工事 ● 別途工事) 配線(●本工事 ※ 別途工事)		 ※ 機器取扱説明書 ▲ 4版ファイル ※ 支要機器一覧表
● 発 電 設 備	◆ 自 動 火 災 報 知 設 備 ● 受信機(● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●		※ 生安城奋一见衣 ※ 保証書 1 部
●構內情報通信網設備			※ 官公署届出書類 1 部
●構内交換設備 ●情報表示設備	 登録 ● 非常 常 警報 設備 複合装置 ● 一体形(※一般型 ● 防雨型) ● 単独 ● ガス漏れ火災警報設備 受信機(回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用) 		 ● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。
		11 他 工 事 と の 取 合 い	他 工 事 と の 取 合 い 電気設備 機械設備 建 築
● 拡 声 設 備 ^信	中制 ● 形 式 ● 警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 央御		● コンクリート壁、床、梁貫通部 補 強 ● ● ※
●誘導支援設備 ¹¹⁷ 報	 ヘ m ● 監 視 制 御 対 象 設 備 ● 動力設備 ● 愛変電設備 ● 同家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 視備 ● 伝 送 方 式 ● デナログ方式 ● デジタル方式 		スリーブ・箱入 ※ ● ●
 ● テレビ共同受信設備 設 ● 監 視 カメラ 設 備 備 			● 鉄骨造の開口及び補強 ● ※ ● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共) ※ ●
● 駐 車 場 管 制 設 備 ■	構 ● 電 気 方 式 三相3線式(● 6.6kV ● 200V) 内		● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ※ ●
 ▶ 防犯・入退室管理設備 ■ ■	● 単相3線式100/200V ● 単相2線式(● 100V ● 200V)		 ・埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の 仮
	■ ● 施 エ 方 法 ● 地中埋設式 ● 架空線式 線 路 ● 外 灯 点 滅 方 式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)		補強 補強 ● ※ ● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ● ● ※
 			切り込み ※ ●
●構内配電線路	構信 ●用 途 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV 内線 </td <td></td> <td> ・埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材 補 ・強 ・ ・</td>		 ・埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材 補 ・強 ・ ・
● 構 内 通 信 線 路	通路 ● 施 工 方 法 ● 地中埋設式 ● 架空線式		
 テレビ電波障害防除設備 	テ 波 除 ● 対 策 方 策 ● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式(● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用)		●電気室、自家発電機室などの基礎及びピット(蓋を含む) ● ※ ●機器付属の制御盛及び操作盤から機器までの配線 ● ※ ●
●機械設備工事 ■<	ご 筈 備 電防 ● 責 任 分 界 点 ● 各戸の保安器一次側 ●		● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ● ※ ●
● 建 築 I 事			● テレビアンテナ 基 礎 ● ● ※
	┃ II.特記仕様		アンカーボルト ※ ● ● ● 天井点検口 ● ● ※
4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)	(1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、④印		● 自立型制御盤の基礎 ※ ● ●
◎ の付いたものを適用する。	の付いたものによる。		● 機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ※ ●
	 ● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。) ● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。) 		屋 上 設 置 ● ● ※
項目 	 ④ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。) 	12 工事用電力・水・その他 13 表 示 板	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する)
電 ● 電 気 方 式 幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V	(2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。		武(する) (寸法寺は下図による)。 建築上事、 (慷慨設備上事寺と一括し (表示する) ※ 工事表示板 ● お願い表示板
「 灯 分岐 ● 単相2線式 (● 100∨ ● 200∨) ● 直流2線式100∨	 (3)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。 2 特 記 事 項 		900 1, 200
設 ● 非常用照明器具 光源●LED ● 自熱灯 電源●電池内蔵形 ● 電源別置形 備 ● 誘 導 灯 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路	2 行 記 ⇒ 頃 (1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。		
	(2)特記事項のうち選択する事項は ④ の付いたものを適用する。		建築工事中 地色白 御通行中の皆様へ 地色白 ・地色白 ・地色白 ・地色白 ・地色白
動 力 ○ 電 気 方 式 幹線 ● 三相3線式200 ∨ ● 単相2線式200 ∨ ● 単相3線式100/200 ∨			
設備 分岐 ● 三相3線式200∨ ● 単相2線式 (● 100∨ ● 200∨)	 (3) 一般共通事項のうち (1,2,5,9,10,12,13,14,15,35))項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。 		延べ面積OOOOm2 簡単なパース、又は立面図を掲載する エ事期間 令和O年O月からO年O月まで パーナーニュージュオリレルマルトいい
雷 ● 受 雷 部 ● 突針 ● 棟上け導体 ● その他金属体())			82 設計者 000000設計 (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 監理者 00環境建築局建築住宅課 (拡大カラーコピーを振り付けてもよい)
日 保 護 ● 避 雷 導 線 ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線	 1 官公署その他への手続 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 2 電気保安技術者 2 電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者 		OCOCOOD設計 事来の目的 施工者 00000建設 000000000000000000000000000000000000
設備 ● 接 地 極 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設	2 他 X 体 X Y M 名 ユーデス通信のく他X体文技術目は、海峡水電の加速福祉学習家所地X IF的体文が住みる米に足のるエデビヨ文所名 の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。		連絡を差間 OO-O000 O OO OO
	なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る		
● 電 気 方 式 高圧 三相3線式 6.6 k V 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式(●100V ● 200V	般 エ事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 コ コ コ コ コ コ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ コ ロ		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
受 ● 契 約 電 力 改修工事 既存設備 ● k W	7 共 (3)電気工事士 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 4 工事安全計画書等 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。		記入要領 施工者 000000建設 連続先 TEL 00-0000 1. 書体は角ゴシックとする。 免洗者 鳥取県 連続先 所見、鳥取県O0総合専務所環境建築局
変 新営工事 ● 100 kW未満 ● 100 kW以上500 kW未満 ● 500 kW以上 電 ● 9 使 支 式 ● 屋内形 ● 屋内形			1.書体は角ゴシックとする。 先注者 鳥取賞 先注者 鳥取賞 一 1 2.お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 建築住名鍵 〇〇四当 TEL 〇〇一〇〇〇 1 <td< td=""></td<>
屯 ● ● 屋内形 ● 屋外形 設 ・ ・ ● ● 日 ● 日 ● 日 ● 日 ● 日 ● 1 ● ● 日 ● ● 日 ● ● 日 ● ● 日 ● ● ● 日 ● ● 日 ● ● 日 ● ● 日 ●<	5 発生材の分析及び処理 事 ■ 「意しを要するもの ※ 無し ● 有り(引渡しを要するものの)がは、構外機出適切処理とする。 たり、 たり、 し、 し、 たり、 し、 たり、 し、 たり、 し、 たり、 し、 たり、 し、 たり、 し、 い、 し、 い、 し、 い、		2. 50歳のなか低はキカ%な気気のい谷とし、 監督員が指示するものとする。
備 ● 102 益 312 ● イユービンルス印電盤(● FFI/I) ● CB-1/I) ● CB-2/I)) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤(CB-3形)	項 「 ・ 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	芟 4 足 場	
変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド	PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。		法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式 より行う。
主 這 断器 ● 限 流 ヒューズ ● V C B	撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し • 有り 西部環境建築	<u> </u>	
	限会社 律 山 設 計 (RANING A2:		図画番号 場トイレ洋式化改修工事 。
		図面名称	
Hamiltaina	-級建築士事務所 登録第05-1356号 R6.02	電気設備工	工事特記仕様書(1)

《 工事表示板 900		1	 お願い表示板 1,200 	
建築工事中 上事名 00000新茶工事 構造: 規模 鉄約コンクリート達 (の融建 広へ商務(0000) 工事期間、名0060月から0年0月まで 設計者 00000設計 整理者 00環境建築局建築住宅課 000000設計 施工者 00000設計 進絡先差期 00-0000 夜間 00-0000 現場責任者 00 00 高取県006会事務所選進建築局	- 地色 白 - 地色 T2-M紀号 5YR6.5/11 0009 1 - 地色 白		御通行中の皆様へ ● ◆和00年0月工事完成予定 簡単なパース、又は立面間を掲載する (拡大カラーコビーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○	- 地色 白 - 地色 7704記号 5YR6.5/11
 建築住宅課 〇〇担当 連絡先 〇〇一〇〇〇〇 E領 B体は角ゴシックとする。 S願い表示板は平易な表現及び内容 	الحالم.		事業協力のお願い 工事期間中は、ご送惑をおかけしますが、ご理解と ご協力よろしくお願いします。 施工者 0000002歳役 連続先 TEL 00-0000 発注者 鳥取県への約合事務所環境建築局 工業歴代生課 0028当 下EL 00-0000	- 地色 白
監督員が指示するものとする。 り先行工法に関するガイドライン」	に基づく足均		置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手・ 手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用	

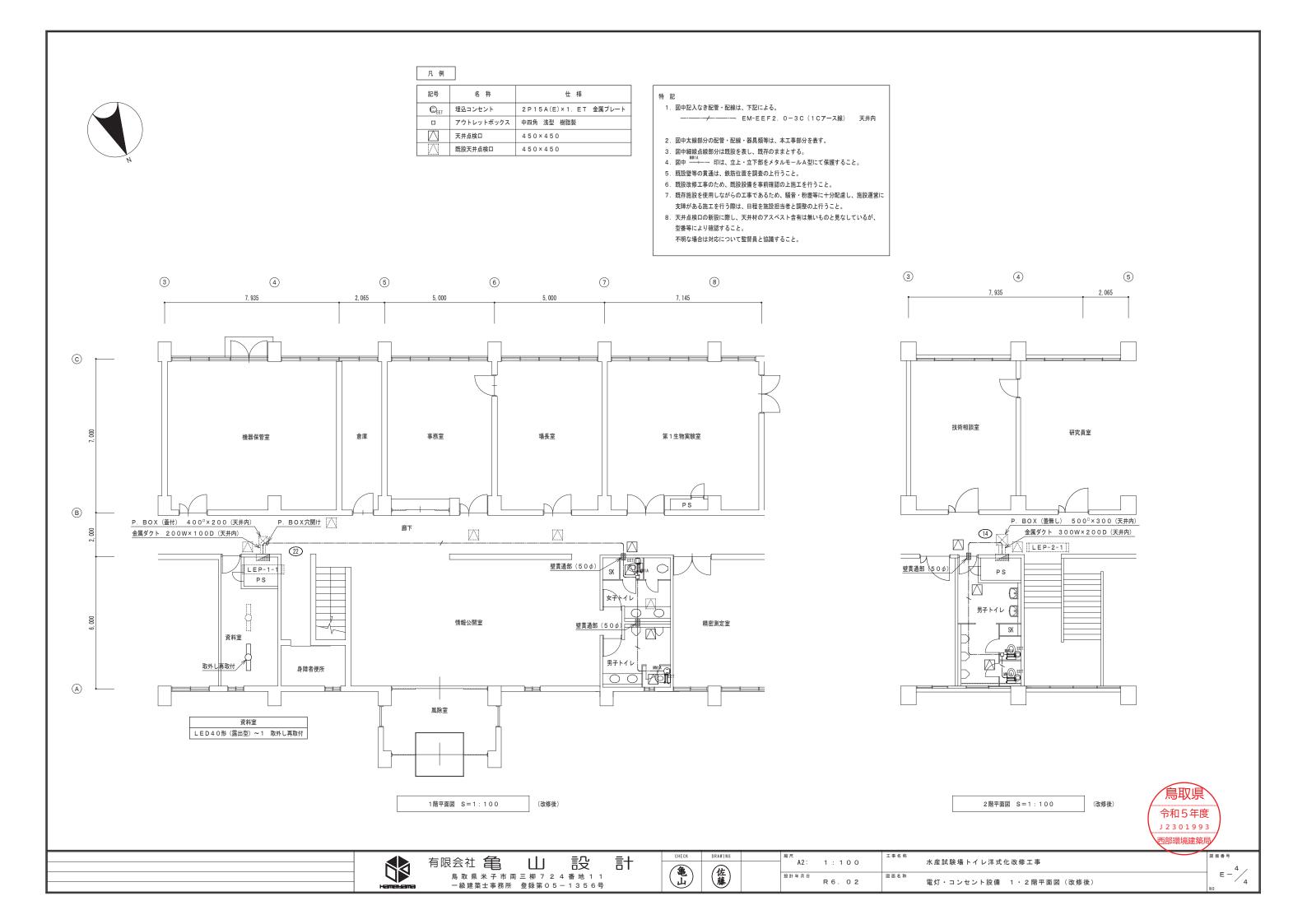
洋式化改修工事	図面番号 1 /
仕様書(1)	E 4

16 土 工 事 ±	構内につくることが ※ できる						10	1 444 447 99		
	埋め戻し土 ※根切土			 ● 真砂土() 	(30)補修など (31)はつり	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	10 拡声 設備	1 増 幅 器	 形式(● 卓上形 ● ラック形) 定 ● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボック) 	【格出力(W) 性能(● H i 形 ● L o 形)
	建 80 戻 C エ ※ 很切工 建設発生土の処理 ● 構外に				 (32)はつり工事における非破壊検査 					
(17)電線類:	本工事では環境配慮の観点から、				82 33 あと施工アンカー	1)施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う	11 誘導	1音声誘導装置	検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 -	● 画像認識方式)
U I	EM電線類で規格等の定めのない				服 33 めと施工アンガー	1) 加工 (電話 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	支援			
	通信ケーブルでJCS規格にない				共	確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上	12	1 自 動 火 災 報 知 設 備	受信機 (● 型 級 回線 (蓄積型)	 ● 複合形 ● 単独形)
	盤内配線はEM電線を使用する。				通	確認強度 対象機器ことのアフルーホルト「本に作用するり扱きガルエ 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	火	2 自 動 閉 鎖 設 備	 ● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 電磁式) 	
					-	武岐国内気 「爬工半辺に対し」や以工 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	報		 防煙ダンパー用(※電動復帰 手動)復帰)
(18) 電線本数·管路等	ハーネスジョイントボックス用C 分雷盤 制御盤 端子盤などの2						設		 防火シャッター用(※別途工事 本 	(工事)
	更してもさしつかえない。				項 34 室内空気中の化学物質の濃度測定		備	3 ガス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)	
		送を行わたい場合け 滚融	亜鉛めっき什トげ	[めっき付着量 300g/㎡以上] と	35 火 災 保 険 等			1施工方法		場合は路盤下-300以上とする。
	する。	42 C 1117 6 0 120 L 16 C / H MA.	正明の りとはエロ	[000001/18里 00000/1100王] 0		(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで [概ね工期+21日] とする。)			● GL-600以上(● 車路	 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)
		側 ●辰州 ●廊下	 機械室 		36 鳥取県公共事業環境配慮指針			2.地 中 箱	▲ 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県)	章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等は
	波付硬質合成樹脂管(FEP)を				37 建築物省エネ法	※ 対象工事			ホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使	用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
	 金属製(ステンレス、新金属 		mitc 7 00		1 照 明 器 具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。	13	3 高 圧 負 荷 開 閉 器	 ● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) 	● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性)
-	シール等を貼付し、用途を表示す					LEDの光源色 (※昼白色 ●温白色 ●電球色)	+#		 ● 避雷器内蔵 	
	ステンレス製プルボックスの塗装		● 有(指定色什	F)	2 一 般 照 明 の 照 度 測 定	測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)	内		※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属す	5.
				-/ 1 k N 以下の一般機器について、製造	■ 電 3 非常用照明の照度測定	 ※ 設置した各部屋 2 箇所以上 ●	電	4 高 圧 ケー ブ ル の 端 末 部	高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策(熱	伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
	者の指定する固定方法を採用する				灯 4 照明制御の照度測定等	 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職	称路	5 高圧ケーブルの屋外端末処理	 ● 一般形 ● 耐塩形 	
	 1)機器の据付け及び取付け 		2			員の指示による。		6標識 シート	※ 高圧 ● 低圧	
	設計用水平地震力は、機器重量	「kN]に、地域係数と次	に示す設計用標準	水平震度を乗じたものとする。	設	照度測定時期 100%点灯時(※夜間 ● 昼間)		7照明用ポール		なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する
	設計用標準水平震度		 特定0. 		(ff)	調光制御点灯時(※ 夜間 ※ 昼間)			だし、ガーデンライトは除く。	
- r	設置場所	機器種別		一般機器 重要機器 一般機器			構	1 施 工 方 法	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある	
		機 器		1.5 1.0	2 1 機 器 へ の 接 続 動 力	※ 電動機などへの接続は本工事とする。	通		● GL-600以上(●	
	上層階	防振支持の機器	2.0	2.0 1.5	設備		信線	2地 中 箱		章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等は
	屋上及び塔屋	水 槽 類	+ <u> </u>	1.5 1.0	1 大 地 抵 抗 率 の 測 定	 ● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 	路			用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
		機器	+ +	1.0 0.6	3 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			3標識シート	 ・データ回線 ・電話 ・CATV 	•
	中間階	防振支持の機器	1.5	1.5 1.0	設備			1調査仕様	図面に記載されていない事項は、すべて(一社	:) 日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要
		水 槽 類	┥ … ┥ ┝	1.0 0.6	1 変 圧 器 移 動 車 輪					(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術
-		機器		0.6 0.4	4 受変電 2 デ マ ン ド 監 視 装 置		レビ		を受けるものとする。	
-	地下及び1階	防振支持の機器	1.0		設備 3盤 内 照 明		電波	2 テレビ電波受信障害調査時期	※ 事前 ● 中間 ※ 事後	
-		水 槽 類	1.5	1.0 0.6			受信	3 受信する受信波及び地点数	中継局 波: 地点	
1	ト 展 際 の 定 差 2 ~ 6 際 建 · 長			」 上層3階、13階以上:上層4階	5 1 交流無停電電源装置	停電補償時間 (分)	障		中継局 波: 地点	
	中間階の定義 地階、1階を勝			工店3月、13月以工、工店4月	電力貯蔵 (UPS) 設 備	「 → → → → → → → → → → → → → → → → → →	調本	4 報 告 書 提 出 部 数	※ 事前 3 部 ● 中間 部 ※ 事徒	後 3部
	水槽類には燃料小出槽を含む							1 機器取付高		
	重要機器 (● 配電盤 ●	非常用発電装置 • 交換	製造 ● 直流	電源装置 ● UPS装置	1 自 家 発 電 装 置	 運転時間(h) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無))		。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用	に支暗がある場合は乾奴職員と位議する
	 火災報知受信 	费 中央監視制御装置	● 通信総合盤	•)	● ディーゼル発電装置	 出力(k W) 配電盤外箱(● 有 ● 無)		名称	測点 取付高 (mm)	名称 測点 取付高(mm)
	2)設計用鉛直地震力は設計用水	平地震力の1/2とし、水	平地震力と同時に	働くものとする。	6 ● ガスエンジン発電装置	│ 【保安装置 〔 重故障項目特記 ● 有 ● 無 〕 外部用端子 〔 ● 要 ● 不要 〕		- 取引用計器	地上~窓中心 1,800~2,000	表示盤 床上~中心 天井高×0.9
	3)設備機器の耐震支持及びアン	カーボルトの許容耐力と選	定については、「	建築設備耐震設計・施工指針2014年	発 ● ガスタービン発電装置	滅圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)		力 引込開閉器	地上~中心 1,800~2,200	壁付発信器 パ 1,300
	版」((一財)日本建築セン	ター)を参考にする。			■ ● 熱併給発電装置	オイルタンク(● 地下 ● 屋内)		五 通	,	表 <u>エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>
26 接 地 極 持	接地極の材料は次による。				設●燃料電池発電装置	据付:機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))		分電盤・OA盤・実験盤	床上~中心 1,500(上端1,900以下)	受付押ボタン(一般) パ 1,300
	接地の種類		接地抵抗值	接地極	備	燃料小出槽 (ぷ):返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。		スイッチ	" 1,300	示 電源箱 床上~下端 300
	● 共 同 接 地	EAED	102以下	EB×3連-2組	1	材質(● 鋼板製 ● ステンレス製)	16	// (多機能トイレ)	// 1,100	
	 ●共同接地 	EAECED		EB×3連-2組		燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス())	10	コンセント (一般)	// 300	
-	● A 種		102以下	EB×3連-2組		排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)	-	電 // (和室)	// 150	外部受付用インターホン(子機) 標準図による
-	● B 種	Ев	Ω以下	EB×2連-2組		排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (d B以下)	そ	// (台上)	台上~中心 150	壁付インターホン(上記以外) 床上~中心 1,300
	● C 種	Ec		EB×3連-2組	2 太 陽 光 発 電 装 置	系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)	o	// (土間)	床上~中心 800~1,300	誘
	● D 種		100Ω以下	EB×1		公称最大出力(kW) 耐風速(m/s)	00	// (車椅子用)	<i>"</i> 900	導 壁付押ボタン(多機能トイレ)
	●高圧避雷器	Есн	102以下	EB×3連-2組		パワーコンディショナ(相 線式 V) 定格容量(kW)	他	灯 ブラケット(一般)	// 2, 100~2, 300	支
	● 交換機用	E t	Ω以下	EB×3連-1組		自立運転機能 (● 有 ● 無)	18	// (踊場)	<i>"</i> 2,000~2,500	援
	● 通 信 用	E A t	102以下	EB×3連-2組		表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●)		// (鏡上)	鏡上端~中心 150	
			100Ω以下	EB×1	3 風 力 発 電 装 置	系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW))			_ 機器収容箱 天井下~上端 200
	 電話引込口の保安器用 		100Ω以下	EB×1	1交換装置	局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイヤルイン方式	-	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)	テ レ テレビ端子 床上~中心 300
	● 測 定 用	E。	-	EB×1		向線ル谷カエ(● 向線平磁台カエ ● 方取平磁台カエ ● ブイマルインカエ ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)		動手元開閉器	" 1,500	ビ (和室) パ 150
					7	● ダイレジトインダイヤルカエ ● ダイレジトインラインカエ) 停電補償時間(分)		カ 操作スイッチ	" 1,300	回 要次員
	(連結の場合、EBはD=14				構 2 保 安 器 用 接 地					信 1,500
				は W=30 L=900 以上とする)		☆ ☆ エーヂ ● 加座エーヂ ● 電話用プレート		端子盤	床上~下端 300	受信機・副受信機 床上~操作部 800~1,500
	 (その他単独の場合、EBはD= 			1200とする)	交 4 回 線 数			構保安器箱	天井下~上端 200	火 機器収容箱 " 800~1,500
	ステンレス製または鋼材に溶融			m + /- >	本 4 回 禄 数 換 5 電 話 機			内 壁付アウトレット	床上~中心 300	災 発信機 床上~中心 800~1,500
	外気に面する壁、スラブ等で打ち					 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 		換 (和室)	<i>יי</i> 150	報 ベル 天井下〜上端 200
29 アスベスト含有建材の処理			改修工事 1節 石	綿含有建材の除去工事による。	(2) (2)	卓上電話機1台につき次のものを見込む。				知 表示灯 " 200
	処理を行うアスベスト含有建材の					● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●)(※15m ●)		電壁掛形親時計	床上~中心 1,500(上限1,900以下)	
	建材の内容・箇所	仕様等		処理を行う範囲		● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C)(※ 15m ●)		気 子時計	" 天井高×0.9	ガ ガス漏れ中継器 天井下~中心 300
						● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)		81		ス 検知器(都市ガス) 天井下~下端 300
						● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●)(※ 15m ●)		拡 壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高×0.9	検 " (LPガス) 床上〜上端 300
	※ 県有施設の石綿除去等に係る	施工業者の登録制度による	登録業者を活用す	るものとする。			_	声 壁付アッテネータ	" 1,300	知
				汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に	8	イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)		2 工事のため送雷組及び配雪線	の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡	し、事故防止に努めるものとする。
	関する法律、石綿障害予防規			令に基づいて行う。	2出退表示装置 情					
	 施工調査(分析によるアスペ 				〒〒 〒		-	I. 機 材		
	分析方法はJISA 148		ト含有率測定方法	」による。	示 3 時 刻 表 示 装 置 設		য় ১			、て標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の
	 アスベスト粉じん濃度測定を 				備	太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)		変材料・設備機材等品質性能評価事業 などのである。		
	(測定時期:	測定場所:	_	測定点:)		令和5年	干皮	ただし、盤類は上記によるほか以下		
	 洗浄設備(洗眼、うがいの割 			and the second second second	9	光出力(● I形 I形 ● I形 ● I形 ● C形) J 2 3 0 1 9 J 2 3 0 1 9	993	(株)永井電機工業		、 電 機 産 業
	 作業場の養生として、処理場 	iffrをフラスティックシート	寺で囲い、外部へ	の粉じん飛散を防止する。	映像音響 設 備	コントラスト比 (• X形 • Y形) 西部環境建	藥局	小林制電		ートメーション
					1 1			勝英産業	(株) (有) 増 岡	
	対象箇所()								
	対象箇所()		▲▶ 有限				工事名称	トイレ洋式化改修工事	BE 104 44 1F 1/1 図画番号 2
	対象箇所()		有限				^{工事名称} 水產試験場 _{図面名称}		





E - ³/4



賀祥ダム管理事務所トイレ洋式化改修工事

	図 面 リ ス ト	
図面番号	図 面 名 称	縮尺
M− 0∕ 5	表紙、図面リスト	
1⁄5	機械設備工事特記仕様書(1)	
2⁄5	機械設備工事特記仕様書(2)	
3⁄5	配置図、附近見取図、1・2階平面図(キープラン)	1:200
4⁄5	衛生設備 器具表、1階平面詳細図(改修後・撤去)	1:50
5⁄5	衛生設備 器具表、2階平面詳細図(改修後・撤去)	1:50
E- 1/ 3	電気設備工事特記仕様書(1)	
2⁄3	電気設備工事特記仕様書(2)	
3⁄3	幹線設備 分電盤結線図、電灯・コンセント設備 1・2階平面詳細図(改修後)	1:50

DRAWING

休村

CHECK

計

有限会社 鲁山 設					
鳥 取 県 米 子 市 両 一級建築士事務所					





賀祥ダム管理事務所トイレ洋式化改修工事

工事名称

図面名称

表紙、図面リスト

A2: — —

R6.02

設計年月日

	Ⅱ.特記仕様			次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
機械設備工事特記仕様書				区分名称 部
饭饭饭这佣工事行礼工你冒		特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、		※ 完成図 原図 ・原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ・原紙 ・ CADデータ ・ PDFデータ
. 工 事 概 要	● 印の付いたものによる		共	(※)完成図
1 工事場所 南部町下中谷		書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)	通	※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 (縮小版) ・
2 建物概要		土様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準土様書」という。)		(●)施工図 ※ 完成図書 (●)完成図(縮小版)
查 物 名 称 構 造 階 数 建築基準法による 延く面積 (m) 消防法施行令別表第一の区分 備 考		図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。) 2.結部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。	事	※ A 4 版市販ファイル ※ 主要機器図
面子 注 初 口 竹 酒 辺 辺 辺 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 酒 辺 1 <th1< th=""> 1 <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>		5年の証券の「破機設備上参加理相断(や相4 年版)」(以下「加理相断」という。)を適用する。 5を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。	項	● A 4 版黑表紙製本 (※)試験成績書
2 ()項				※ 保守用説明書 ※ 保守用説明書 ※ ※ 機器取扱説明書 ※
3 ()項 4 ()項	2 特 記 事 項			(A4版ファイル) ※ 主要機器一覧表
	 (1)項目は番号に○印の付し (2)特記事項のうち選択する事 	いたものを適用する。 ■項は ◎ 印の付いたものを適用する。		※保証書
3 工事種目 (③ 印の付いたものが対象工事種目)		※ 印の付いたものを適用する。 印と 		 ※ 官公署の届出書類 ● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。
	(3) 一般共通事項のうち () 項は、● 建 築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。		他工事との取り合い 建 築 電気設備
				スリーブ・箱入 • •
 空気調和設備 冷暖房設備 □ 	項目	特記事項 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。		 ● コンクリート壁、床、梁貫通部 補強※●
 換気設備 		エ事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者		
● 排 煙 設 備	-	の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の		・ 和切如天 中秋日の小のトルインタート (くどえは天) ・ ・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ・
 ● 自 動 制 御 設 備 ● 衛 生 器 具 設 備 	фл.	資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家 用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。		 ・ 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強
● 給 水 設 備	般 3 工 事 安 全 計 画 書 等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。		補強※ ● ● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ※ ●
	共 ④発生材の分析及び処理			・ 切り込み り込み ・ ・ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強 切り込み ・ ・
 給湯設備 ガス設備 	通	※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。		補強※●
● 浄 化 槽 設 備	事	特別管理産業廃棄物		
 済火設備 > さく井設備 		※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 肉石線 (配管田保温材) ● PCP体田爆発 ●)		● 天井点検口 ※ ●
• 電 気 設 備 工 事	項	 (● 廃石綿(配管用保温材) ● PCB使用機器 ●) アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物)は関係法令に従い適切に処理 		 ● 機器類のコンクリート基礎 屋 上 設 置 ※ ●
● 建 築 工 事		を行う。		座 上 次 ● ● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ● ●
		 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 		 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ●
設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)		「飯本下止機器の(塩単) C B 方析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの		本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
 ④ 印の付いたものを適用する。 項 目 設 備 概 要 		※ 無し ●有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)	16表示板	
	(5)機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあ		※ 工事表示板 ● お願い表示板 900 1,200
 ・ 冷 暖 房 設 備 ・ ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式 		らかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評		
○ /□ 10 /□ 10 空 ● ● ● □ ▲ </td <td></td> <td>価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。</td> <td></td> <td>建築工事中 地色白 御通行中の皆様へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td>		価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。		建築工事中 地色白 御通行中の皆様へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(6)機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2 (3)の品質 及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される		工事名 〇〇〇〇〇〇新築工事 で地記号 採掘 規模<(鉄筋コンクリート造)の開建
和 ● 熱 源 ● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス ・		製作図、試験成績等は除く。		ぼく (加) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な
令 ● 鋼製ポイラー ● 鋳鉄製ポイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 缓	⑦機材の承諾図 ⑧図形等の表示	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。		8 設計者 0000000設計 (油ムルフームビーを強り付けてもよい) 5月者 0000000設計 (油ムルフームビーを強り付けてもよい)
▲ ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 主 要 熱 源 機 器 ● 直だき吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット	9 電気容量及び機器表示	酸金知れ、因小りるかか、配目等などの取出し辺思なの変通的増により、特定変通有の変配を用小、酸化しない。 機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。		施工者 00000建設 000000000000000000000000000000000000
 パイオマスボイラー ・ ルームエアコン 		電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。		夜間 00-0000 - 000000000000000000000000000000000000
 ・ ヒートポンプパッケージェアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) 	(10)技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施 工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時		周秋県 0083日参757734952余向 建築住宅線 0028日 連絡先 00-0000 事素協力のお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解と
 ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他() 		1日月の1911と回るにのの15米3日寺と117。また、そのものが128日とのることががかる石化(1日参考/2日時 着用する。		
換 気 設 備 ● 第一種 ● 第二種 ● 第三種		●配管 (●1級●2級) ●熱總總正 (●1級●2級) ●冷凍空気調和機器施工 (●1級●2級) ● 建築板金 (●1級●2級)		1. 書体は角ゴシックとする。 注紙 注紙 5. ことにして日本 1. 書体は角ゴシックとする。 注紙 5. ことにして日本 1. 言体は角づシックとする。 注紙 5. ことにして日本 1. ご 1. 言体は角ゴシックとする。 ご 1. ここにして日本 1. ここにして日本
排 煙 設 備 ● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)				 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 監督員が指示するものとする。 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 TEL 00-0000
自 動 制 御 設 備 ● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式			17 足 場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「
 		技能		行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり振置き方式又は(3)手すり先行専用足 より行う。
		職種配管 技能±の種別 作案名建築配管作業 けた±のほの目	(13)工 事 用 仮 設 物	構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない (一般水槽)
ホーボー ジャルゴ ホー・サイホー オーホー オーホー オーホー オーホー オーホー オーホー オー オーネー オー			19 土 工 事	(ア)埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土(● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
		勤務先 OO工務店 自 宅 鳥取市 技能士本人の住所地		 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()
○ 法 次 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 法 水 段 流 先 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽		写真(30×40程度) 技能士番号 00-0-000-0000 発行 OOOOOOOOOO 回 名れの発行元 行元、本人写真)が記載してあ		(イ)建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
● 排 水 設 協 放 流 先 雑 排 ◆ 公共下水道 ◆ 浄化槽 ④ 側溝 雨 水 ● 公共下水道 ● 御【溝 ● 河川 ● <t< td=""><td></td><td></td><td>20保温工事</td><td>● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●</td></t<>			20保温工事	● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●
	(11)施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。		 ● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ● ● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ●)ポリスチレンフォーム
净 化 槽 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川	12完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、		 ● 保温チューブ(厚さ@)
g g ●給 湯 設 備 ●局所式(●ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式(● 油 ● ガス ● 電気)		監督職員の指示による。下記のものを提出する。 区 分 分類・規格 撮影箇所 部 数 電子データの提出		 ・ 排水管 ・ 中小クウール ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム ・ 保温チューブ10t ・ 給湯管 ・ (・ ロックウール ・ グラスウール ・ 保温チューブ(厚さ@))
#		区分 分類・規格 撮影箇所 部数 電子データの提出 工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※1部 ● 部 ・ ● の要 ● 不要	鳥取県	 和海首 (● ロックウール ● ダブスウール ● 味道チューブ (厚さ ●) ● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●
● 屋内消火栓 ● 屋内消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● 消 火 設 備 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置		完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 ● 部 🔵要 ● 不要		●ダクト (●ロックウール ● グラスウール ●
 ● 不活性ガス消火(● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火 			(令和5年度	 ● 燃焼熱源等機械室内の配管(● ロックウール ● グラスウール) ● 全熱交換機の給気ダクト(● 機器外気側 ● 機器室内側)は保温(グラスウール25mm厚)する。
 ・ガ ス 設 備 ●都市ガス(MJ/Nm³) ●液化石油ガス 			万2301993 西部環境建築局	
				屋外(●樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●
	与限会社 4名 山		^{エ 事名 称} 賀 祥 ダ ム	管理事務所トイレ洋式化改修工事
	鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7	24番地11 (1)(木) (於)	図面名称 02 機械設備	
Hamelana	一級建築士事務所 登録第 C	リカー1356号 ビー 1356号 100-1356号	אם איר אנ	

			1	1 設 計 用 温 湿 度 条 件 		6	(1)衛生器具の参考型	
			m		外気条件 一般 ()	一	2 小 便 器 用 節 水 装	置 ※小
	23防振継手	※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製)				14 生		● 洗
		※ ベローズ形 ● スリーブ形	調			器		※ 個
	25 塗 装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)				1 22	3 自 動 水	栓 電源供
	1	(ア) 埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ) 亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山			一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	4 大 便 器 洗 浄	弁 操作方
		(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類						
		(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面		2冷却水管	※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA		⑤温水洗净便	座 洗浄用
NUMBER	Į	(キ)アルミ、ステンレス、鋼、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面	2	3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP(白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管(SUS304)		。 6 器 具 と 排 水 管 接	続 ※ 標
			冷		 ● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) 		1量 水	器 ● 親
			暖	4.膨脹,空気抜,補給水管		(7)		• 7
A = D + C = D + E Vertex + C + C + C + C + C + C + C + C + C +			房			給		
<i>μ</i> = <i>μ</i>			備					A1 (7)-
Production 1 - Standard - Stand	26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。		6 蒸 気 遠 水 管	※ STPG370−Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)			
	27 溶 接 配 管 の 検 査	 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 		7 油 ・ 油 用 通 気 管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	設		(イ)±
μ μ		非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3	8 冷 媒 管	※ 断熱材被覆鋼管	備		(ウ)地
		抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)	換	9 空 調 用 給 水 管	● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●			
φ φ </td <td>28 埋 設 表 示</td> <td>● 地中理設標を図示する箇所に設ける。</td> <td>気</td> <td>10 空 調 用 排 水 管</td> <td>※ SGP (白) ● VP ● カラーVP</td> <td></td> <td></td> <td>(工)特</td>	28 埋 設 表 示	● 地中理設標を図示する箇所に設ける。	気	10 空 調 用 排 水 管	※ SGP (白) ● VP ● カラーVP			(工)特
<i>μ</i> = <i>μ</i> = <i>μ</i> <i>μ</i> = <i>μ μ</i> = <i>μ</i> <i>μ</i> = <i>μ</i> = <i>μ</i> <i>μ</i> = <i>μ μ</i> = <i>μ μ</i> = <i>μ μ μ</i> = <i>μ μ μ</i> = <i>μ μ μ μ</i> = <i>μ μ</i>		● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)	設供	11 弁 類	ж 5 к • 10 к			(才)ビ
<i>μ</i> = <i>μ</i> = <i>μ</i> = <i>μ</i> <i>μ</i> = <i>μ</i> <i>μ </i>	(29)支持金物·固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。	1佣	12 ファンコイルユニット	│ │ ※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。			(カ) ホ
Component Sector Component Sector	\bigcirc	屋外及びピット内の配管 ダクトに使用する支持会物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。		13 ダンパー	(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 雷気式		3 弁	類 ※ □
Operation	20 纷 今 计 浑 起 细 教						0 11	• 5
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				14.45 5 1				
Out of a standard with the standard wit				14 2 7 1				• 公
Φ/2 x 4 × 1 + started Φ/2 x 4 × 1 + started <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td></td><td></td></t<>						<u> </u>		
(a) / A > b 4 88000 (b) / A > b 4 88000 (c) / A > b 4 8 8 0 (c) / A > b 4 0						8	① 配 管 材	
No. 0	(31)アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。			 アングルフランジエ法 			(イ)屋
$ \frac{1}{2} = \frac{1}{2} \cdot 1$		処理を行うアスベスト含有建材の仕様等			 ・ 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 			
		建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲		15 吹 出 口 ・ 吸 込 口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製	水		(ウ) ポ
日本市の市場市は、日本市工具の日本の日本になる中本でした日本である「日本市工具の日本の日本である」 日本市工具の日本の日本の日本である」、「日本市工具の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		7スファルト防水 M-5 参照		16チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。	設		(エ)通
$ \int \frac{1}{2} \int \int \frac{1}{2} \int \int \frac{1}{2} \int \frac{1}{2}$					接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。	備		(才)屋
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $		、 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。						
日本 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>							2 満 水 試 畭 縦	手 3階以
				17 消 辛 内 타 니				
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $						<u> </u>		
				18 瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式 (コック付) とする。 ● 着脱式 ● 固定式	9	1 配 官 材	
したまた Laster Laster <thlaster< th=""> <thlaster< th=""> <thlaste< td=""><td></td><td>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</td><td></td><td></td><td> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</td><td><i>w</i></td><td></td><td>● 保</td></thlaste<></thlaster<></thlaster<>		● アスベスト粉じん濃度測定を行う。			下記の箇所、若しくは図示により取付ける。	<i>w</i>		● 保
		(測定時期: 測定場所: 測定点:)						湯沸
		 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 				1	2 弁	類 ※ 5
		● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。				備		
100 m 0		対象箇所(10	1 配 管 材	料 (ア)-
	32)補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。				10		(1)±
● 2014:10:05 2419 ■ 2020:00 ● 2014:10:05 2419 ■ 2020:00 ● 2014:10:05 2419 ■ 2010:00 ● 2015:10:05 2419 ■ 2010:00 ● 2015:10:05 2419 ■ 2010:00 ● 2015:10:05 2419 ■ 2010:00	(33)は っ り	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。				消		(ウ)地
	 (34)はつり工事における非破壊検査 	探杳方法 ※雷磁誘導式 ● 放射線透過検査				火	2 弁	類 ※ 1
● 点 点 点 点 □	U			20温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付∟形温度計	設	3 保	
(福祉によれないは、「単純化なした」で「福祉にないていたした」、 (福祉によれないした」で「福祉にないたいた」、 (福祉によれないたいた」、 (福祉によれないた」 (福祉によれないたいた」 (福祉によれないたいた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた」 (福祉によれないた (福祉によれないた) (福祉になれないた) (福祉になれなないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれなないた) (福祉になれなないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれないた) (福祉になれなないた) (福祉になれないた) (福祉になれなないた) (福祉になれなないた)				21 冷 温 水 管 の 空 気 抜 き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。			(イ)充
コグ ク リーン ダ ム グリーンはは認めたのすん。 ・● 「「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「」」 ● 「「」」 ● 「」 Ш 回 の 内 A A A D B A D C A					※ 手動 ● 自動	Nia		
					自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))			(ウ)配
- ・●説本 () ・ を取用 (* 予弦変 () デスタン () うっていないって、 () かっていないって、 () かっていないっていないって、 () かっていないっていないって、 () かっていないっていないって、 () かっていないっていないって、 () かっていないっていないっていないっているいっていないっていないっているいっているい	37 り ー シ 購 入				機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。			•
・そのは ・ > <td< td=""><td></td><td>)</td><td></td><td>22 空 調 機 用 ト ラ ッ プ</td><td>トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</td><td></td><td></td><td>•</td></td<>)		22 空 調 機 用 ト ラ ッ プ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製			•
		 ● 断熱材 () ● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管) 		23 錮 板 製 煙 道	 材質及び厚さ ● SS400(※3、2mm ● 4、5mm) ● SUS(※1、5mm ● 2、0mm)		4屋内消火	栓●広
10 思想を当う 782.7 10 00 7.7.7 10 00 7.7.7 10 00 7.7.7 10 10 10 00 7.7.7 10<		● その他 ())					5 ガス 系 消 火 剤 の 種	類 ● 窒
 かとま き は かまえき かえま き かえま き かえ き き かん ま かん かん ま かん ま かん かん ま かん かん ま かん かん かん	38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事					6 ガス系消火の起動方	式 ※ 手
 ● 日 室 互 工 数量構成の加工におんたのたどうんだし、工業11×NATO-連載目について、試 数 数量の加工におんたのたどし、まま1×NATO-連載目前にない、そのたい、計画 キャンパー・「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	39 建 築 物 省 エ ネ 法	対象工事		21 + 2 = + + + + + + + + + + + + + + + + +			1都市ガス設	備 都市ガ
をの意でを述 かたったます。 でので かたったます かたったまままま かたったまままままままままままままままままままままままま	40 耐 震 施 エ	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造				···	2 配 管 材	料 (ア)-
(1) 建築の運作は大阪市地区 (1) 建築の運用 (1) 建築 (1) 第 (1) 第 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。		20 地 トオイルタンク		ガ		(イ)±
						ス		(ウ)地
地域磁と次に非空計構構築不電量を望むたものとする。 2x1・価単、不電型 ・ 10000000 ・ 400000000 ****** ****** ******* ************************************						設	3ガスメー	
 					土留め工事 ● 要 ● 不要	備		• 7
地理協作 地理協作 主要協作 主要協作 主要協作 主要協作 法 1 0 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 <th0< th=""> <th0< th=""></th0<></th0<>					タンクローリー用アース端子を設ける。		4 バルク 貯	
$ \frac{1}{82} \frac{6}{84} \frac{6}{92} \frac{1}{2} \frac{5}{16} \frac{1}{16} \frac{1}{16} $				26 油 面 制 御 装 置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●			
$ \frac{1}{4} \frac{1}{6} 1$				27 フィルター等付属品	 ● 機器表特記による。 			
中間階 水 植菇 2.0 1.5 1.6 0.0<		屋上、塔屋 防振設置機器 2.0 2.0 2.0 1.5			 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 			
中 南 南 一 市 0 <t< td=""><td></td><td>水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0</td><td></td><td>28 パッケージ空調機の能力表示</td><td>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</td><td><u> </u></td><td></td><td></td></t<>		水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0		28 パッケージ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。	<u> </u>		
$ \frac{1}{2} \text{ m m m}} \frac{1}{2} $				29防振吊り及び支持金物		12	1処埋種別及び方	式 • 小
地館・1 商 一 0 0.6			4			1		
地牌・1階								● 合
小 株 種 類 1,5 1,0 1,0 0.6 上層階の定義 2~6 時違: 是上院,7~9 時違: 上層 3階,13階違以上: 上層 3階,13階違以上: 上層 3階,13階違以上: 上層 4階 4 勝 煙 風 星 測 定 電気式 (遠隔機作 ※ 不要 ・要) 建設備空期偽査 熟惑場略 35歳場略 55% 特 版 滴 水 の 水 質 • 振気機器 • 監契機器 • 医類機器 • S数規器 • S数規器 • S数機器 • S数 # S						化	2型 式	• _
上層階の定義 2~6階雄:最上階, 7~9階雄:上層2階, 10~12階種:上層3階, 13階違以上:上層4階 中開隙の定義 地際, 1階を除く各階で上層解に話当しないの 重要機器 ● 換欠機用する設備、2階を除く各階で上層解に話当しないの 重要機器 ● 火を使用する設備、3階後的公園 を使用する設備、2000時間、4000時間、4000時間、4000時間、4000時間、4000時間、4000時間、4000時間、4000時の、4 						槽	3処理能	力 ● 処
中開開の定義 地際、1階を除く各帯で上層際に接出しないもの 重要機器 ・ 扱気機器・空顕機器・ 筋液機器・ 医視射神影像・ た後物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備・ 避難経路上に設置する機器・ 水槽類(燃料小出槽を含む) ・ () (2) 設計用約直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 診療機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年 成」((一財)日本建築センター)を参考にする。		上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階		3 排煙口開放及ひ復帰方式		設	4放流水の水	質 ● 流
重要機器 • 換気機器 • 空調機器 • 防源機器 • 防波機器 • 防波機器 • 広線物御監備 • 危線物御監備 • 危線物御監備 * 危線物御監査 1 中央監視制御監装置 • 有り(債機機能は、図示による) • 無し ● 有り(債機能能は、図示による) • 無し ● 有り(有機機能は、図示による) • 無し ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(債機能能は、回転は、回転は、の) ● 有り(債機能能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、の) ● 有り(有機機能は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転は、回転		中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの				備		• T
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・水槽類(燃料小出槽を含む) 2 電 源 装 置 ・() 3 温 度 調 節 器 等 2 定 源 英 定 3 温 度 調 節 器 等 4 計 葵 エ 事 の 配 線 ・要(・本工事 ・別途工事) ・不要 取作高さ ※ 1300mm mm ・ () ・ () (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 4 計 葵 エ 事 の 配 線 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と還定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年 版」((一財) 日本建築センター)を参考にする。 6 埋 戻 し 土 ア ホ ー ル ふ た 第 (1) 日本建築センター)を参考にする。 6 埋 戻 し 土 (1) 日本建築センター)を参考にする。 7 生 留 め 工 事 (1) 日本建築センター)を参考にする。 6 埋 戻 し 土 (1) 日本建築センター)を参考にする。 (1) 日本建築センター)を参考にする。 (1) 日本 建築 (1) 日本 建築センター)を参考にする。 6 埋 戻 し (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本			5	1 中 央 監 視 制 御 盤 装 置	 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し 		5排水方	式 ※自
・ () 3 温 度 調 節 器 等 動 前 3 温 度 調 節 器 等 取付高さ ※ 1300mm ・ mm ア エ 留 め エ 事 ア エ 留 め エ 事 ・ 医外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力な「2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 () 注 楽設備耐震設計・施工指針2014年 前 1 装 エ 事 の 配 線 ・ 医外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 ・ ア エ の か た 9 消 毒 薬 ・ ※ (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年 前 4 計 装 エ 事 の 配 線 ・ 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 ・ ア エ ● ル 9 消 毒 薬 ・ ※ (1) 「中) 日本建築センター)を参考にする。			自	2 電 源 装 置	● 要(● 本工事 ● 別途工事) ● 不要			
(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年			動	3温度調節器等	取付高さ ※ 1300mm ● mm			
(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年 版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 設備 ・ 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 9 消 毒 薬 3 か ● 消 毒 薬 3 か ● 消 毒 薬 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量 ● 消 量			制御	4 計 装 エ 事 の 配 線	 ■ 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 			
版」 ((-財)日本建築センター)を参考にする。 価 第 有限会社 倉山 設合 計 鳥取県米子市両三柳724番地11			設		 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 			
有限会社 一 一 CHECK DRANING 橋尺 A2: 工事名称 資祥ダム管理事務 鳥取県米子市両三柳724番地11 (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (L)			備				3 消 毒	薬 3ヶ月
有限会社 記 記 品取県米子市両三柳724番地11								
有限会社 記 設 計 A2: 資祥ダム管理事務 鳥取県米子市両三柳724番地11 総計年月目 図面名称 機構設備工事体記								
鳥取県米子市両三柳724番地11 (鞄) (木) ^{設計年月日} 図面名称 横雄設備工事体記				· + 色 · · ·	· =几 =⊥ CHECK DRAWING 縮尺	<u> </u>		些III 古 74 ~
								官 理 争 務 丹
								工事特記付
		Hemisterne	收进	- ネエナ171111 豆稣労しり-				-

```
変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
小便器一体型 ● 小便器分離型
洗浄水量4リットル/回以下
個別感知方式 ( ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ) ● 手動式
原供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池
『方式 ● 電気開閉式 ( ● センサー式 ● タッチスイッチ式 )

    ●手動式

用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式
標準図(施工64) • 標準図(施工65)
親メーター ※ 借用 • 買取 (※ 直読 • 遠隔表示 )
子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示 )

    ● HIVP
    ● 架橋ポリエチレン管

)

土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316

    水道配水用ポリエチレン管(75~100A)
    水道用ポリエチレン二層管(50A以下)

特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
)ビニル管の接合方法 ※接着接合 • ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。
)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※ 融着継手
口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
5 K (受水槽以降の配管に使用)
● 10 K (公営水道に直結する配管に使用)
公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。
)屋内汚水管 

● V P ・ R F − V P ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 耐火二層管

)屋内雑排水管 ・ V P ・ R F − V P ・ SGP(白) ・ 排水用塩ビライニング鋼管

    耐火二層管

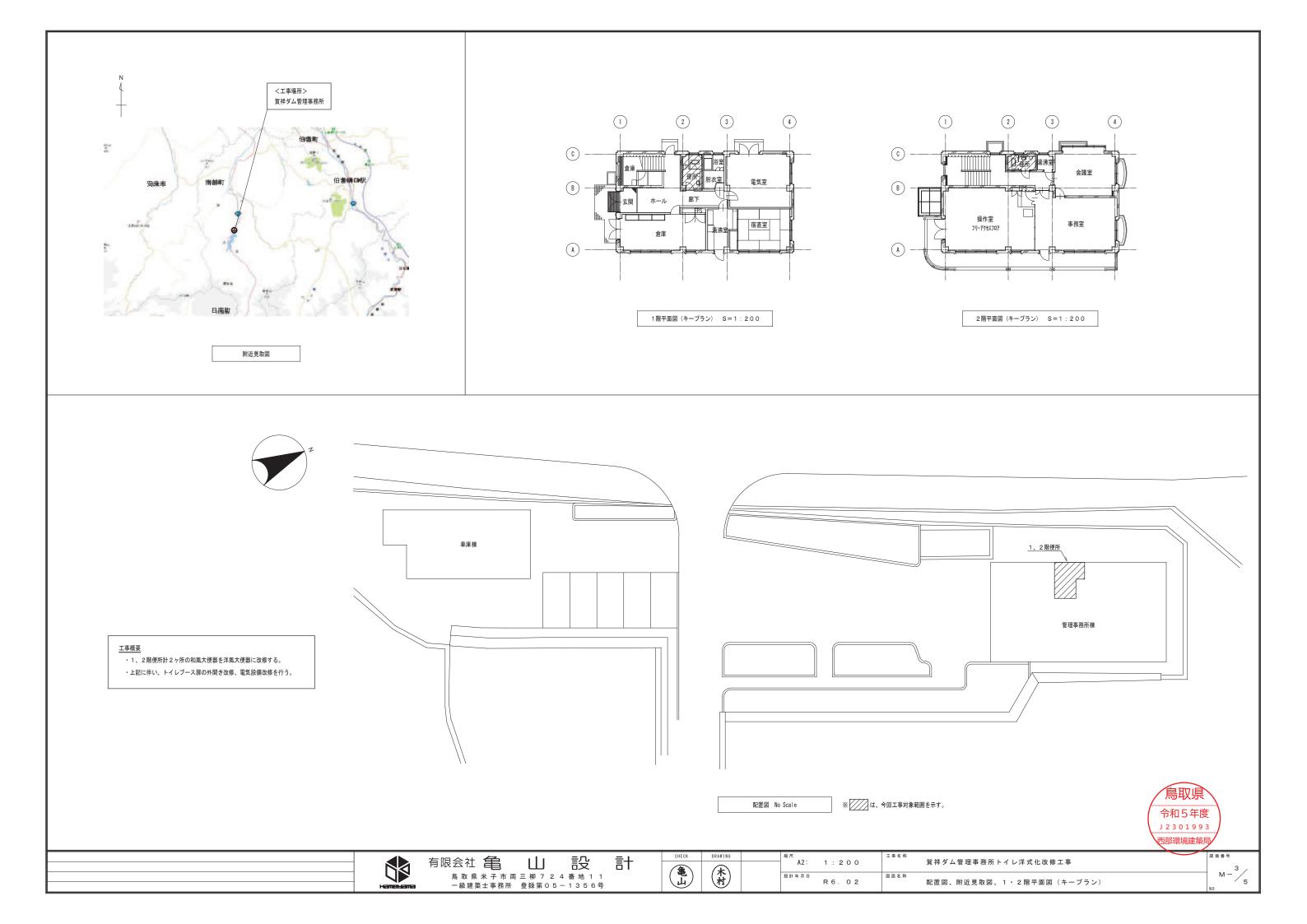
ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手)
)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ピライニング鋼管
)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中)
  ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
皆以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
施工する 
・施工しない
SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
保温付被覆銅管 ● 銅管
沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
5K • 10K
ー般配管 ● SGP(白) ● STPG
)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
(10K • 16K
)呼水タンク ※施工しない •施工する
)充水タンク ※施工しない ●施工する
)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 · (ハ) · WIIによる)
 ・屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する ) ● スプリンクラー用( ※ 施工しない ●施工する )
 ・連結送水用 (※ 施工しない ●施工する ) ● 連結散水用 ( ※ 施工しない ●施工する )
広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号 )
窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23
手動 ● 自動手動切替式
うガスはガス供給事業者の供給約款による。
一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管
) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 
● ガス用ポリエチレン管
親メーター ※借用 ● 買取 (取付け ※別途 ● 本工事 )
子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途 )
縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
標準図(施工73)の • 要領(a) • 要領(b) • 要領(c)
標準図(施工74)の • 要領(a) • 要領(b)
不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )
小規模合併処理 ( ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式

    その他性能評価を受けた方式())

合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 )
ユニット型 ● 現場施工型
              ● 処理水量 m<sup>°</sup>/d
処理対象人員 人
流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
T-N mg/L以下 • T-P mg/L以下
自然流下・ ポンプ排水

    砂
    ● 根切土の中の良質土

                               鳥取県
不要 ● 要(図示による)
製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)
                              令和5年度
「月相当分を納入する。
                              J 2 3 0 1 9 9 3
                              西部環境建築局
                                       図面番号
所トイレ洋式化改修工事
                                        м – 2
                                            5
!仕様書(2)
```



衛生器具表 (改修後)

名 称	参考品番	仕 様 ・ 付 属 品(参考品番:LIXIL)	設置室名	数量
洋風大便器	BC-P110HA (LIXIL)	DQ-PA150CH(クイックタンク式)、CW-KA31(温水洗浄便座,貯湯式,便ふたあり,手動洗浄)、	1 階便所× 1	1
(リモデルタイプ)	CFS498BMK (TOTO)	CF-020-SET(シャワートイレ分岐栓)、CF-63HST(棚付二連紙巻器)		
		※掃除口無し,サイドカバーあり,床給水,床排水		

特記事項(改修後共通)

※図中 ……… は、既設部を示す。

※図中 …― は、既設管への接続部を示す。

※図中 は、床スラブ及び仕上げの復旧範囲を示す。

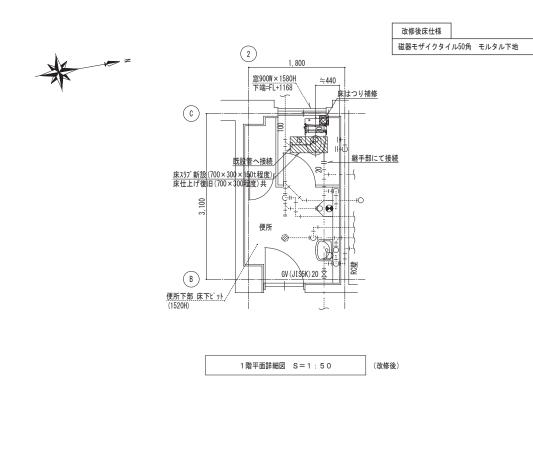
復旧時、既設コンクリート4面に差筋アンカー(D13@200)施工の上、配筋(D13@200シンヴルクロス)を行うこと。

※図中 🕅 は、床のはつり補修部を示す。(仕上げ補修共)

※施工に先立ち、既設各配管等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工すること。 ※図中の各品番・寸法は全て参考とし、メーカーを指定するものではない。 ※既存テラゾーブロックブース、木製扉及び吊り金物等は全て再使用とし、図示箇所のブース扉の開き勝手を外開きに改修する。 ※ブース扉の外開き変更に伴い、現場にてドアノブ・「洋式トイレ」表示プレート等必要部品の新設、ブースの既設ボルト穴及び扉のビス穴 埋め、ブースの穴開け・切り欠き等を行う想定としているが、監督員と改修方法を打合せし、施工に当たっては注意して施工を行うこと。 ※既設床等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行うこと。既設梁の貫通は不可とする。 (スラブ・耐震壁等で鉄筋切断となる場合は、監督員と打合せのこと。) ※施工箇所以外の他系統給排水設備が長期間利用できない状況とならない様、必要箇所に仮設プラグ等を設置の上、工事を行うこと。 ※既設建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設設備を事前確認して施工すること。

また、給水の断水、排水等の遮断ができる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工すること。

(1階・2階どちらかの便所を利用できる様に施工すること。)



徫	衛生器具著	長 (撤去)	
名	称	参考品番(TOTO)	仕

名	称	参考品番(TOTO)	仕	様		付	属	品	設置室名	数量
	大便器	(7594)	S570B, 75570ZN32, 75670F	155710	, 18203	2, 15116		\square	/階便所/1	

	既設管 凡例(※図中特記を優先する。)					
記号	名 称	備考				
	給水管	SGP-VB				
	汚水・雑排水	VP				
	通気管	VP				

ポリスチレンフォーム 防水麻布+アスファルトプライマー

グラスウール アルミガラスクロス化粧筒

グラスウール アルミガラスクロス化粧筒

※管種等は現場にて再調査の事。

1. 給水管

2. 給水管

3. 排水管

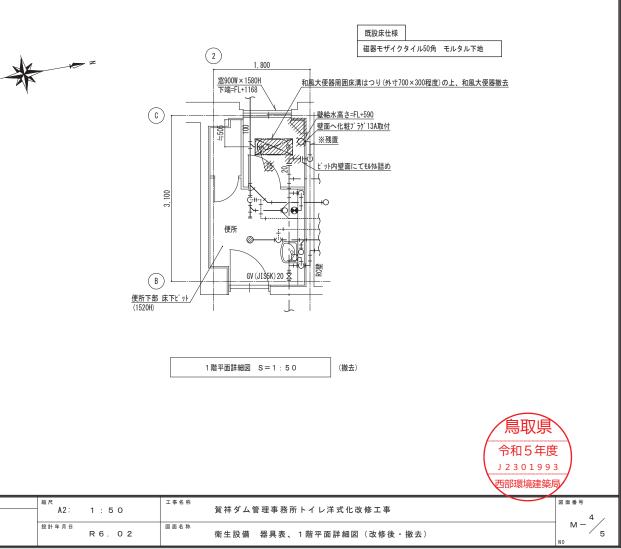
既設保温材質 ※保温材質は、現場にて再調査の事。

ピット内

天井内

"

特記事項	i
※図中) 但し、	
※図中	
※施工(
※既設署	u Si
※トイリ	L
※撤去署	ŝ
※施工管	Ĩ
設置(Ţ
※既設致	
設備で	ź
また、	
(18	h



	有限会社 笔	Ш	設	計	CHECK		^{縮尺} A2:	1:50	工事名称	賀祥ダム管理事務所ト1
	鳥 取 県 米 子 市 両 一級建築士事務所						設計年月日	R6.02	図面名称	衛生設備 器具表、1階

特記事項

※表中///は、撤去器具を示す。

※既設器具は現場にて再確認し、器具表と異なる場合は、監督員へ報告する事。

(撤去共通)

////は、撤去部を示す。

、壁内・RC内等の撤去不可能な配管は、そのままとする。

は、床はつり後大便器撤去部を示す。

に先立ち、既設各配管等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工すること。 器具及び配管支持材等撤去部のボルト・ビス穴穴埋め補修は、本工事とする。

レ内の養生を行い、粉塵の飛散防止に努めること。

器具・配管等は、法令を遵守し適切に搬出・処分を行うこと。

箇所以外の他系統給排水設備が長期間利用できない状況とならない様、必要箇所に仮設プラグ等を の上、工事を行うこと。

建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設 青を事前確認して施工すること。

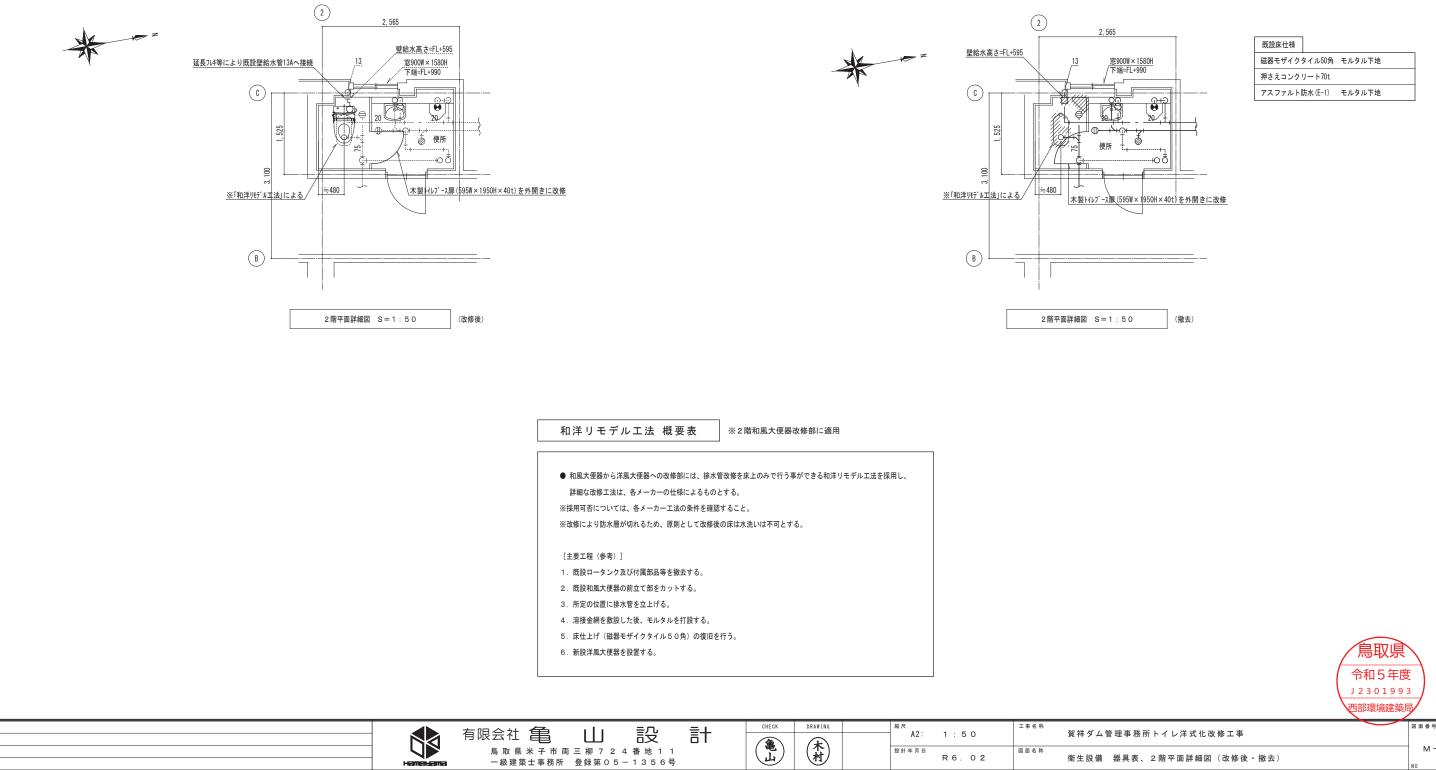
、給水の断水、排水等の遮断ができる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工すること。 (1階・2階どちらかの便所を利用できる様に施工すること。)

衛生器具調	表 (改修後))		
名称	参考品番	仕 様 ・ 付 属 品(参考品番:LIXIL)	設置室名	数量
洋風大便器	BC-P110HA (LIXIL)	DQ-PA150CH(ウイックタンク式)、CW-KA31(温水洗浄便座,貯湯式,便ふたあり,手動洗浄)、	2階便所× 1	1
(リモデルタイプ)	CFS498BMK (TOTO)	A-10476(リトイル用置換セット)、322-1165-630(延長フレキホース20A)、CF-020-SET(シャワートイレ分岐栓)、		
		CF-63HST(棚付二連紙巻器) ※掃除口無し,サイドカパ-あり,壁給水,床排水		
		※器具・付属品の必要部材は、各メーカーの仕様による。		

衛生器具調	表 (撤去)	※表中 //// は、撤 ※既設器具は現場にで	去器具を示す。 再確認し、器具表と異なる場合は、監督員へ報	告する事。
名称	参考品番(TOTO)	仕様・付属品	設置室名	数量
和風大便器	C750VF	\$570B/, T\$570Z1v32/, 75670F1/, 75571B/, 782C32/, 75176M	2階便所×1	1

アスベストについて

※今回工事の対象となる場所のアスファルト防水には、アスベストが含有されている物として撤去・ 処分を見込んでおり、検体調査費は見込んでいない。 ※和風大便器上部前立て・リム等撤去時にアスファルト防水が和風大便器に付着する場合は、アスベ ストが含有されている物として、法令を遵守し適切に施工・処分を行うこと。 ※その他の材料で、アスベスト含有の可能性がある物を改修する場合は、監督員に報告すること。



M - 5/5

	項 目 特 記 事 項	6機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。
	電 ● 直 流 電 源 装 置 用 途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用	-	また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ.機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、 これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ
┃	 カ ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 	般	生きを見たして承諾を受ける。
ⅠⅠ.工事概要	蔵 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● (Ah) 設	#	なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は
	武 備 (UPS) ・ 交流無停電電源装置 (UPS) 形 式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用 途 ● 電算機用 ●	通	評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材が皿.機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有すること
1 工事場所 南部町下中谷		<i>T</i>	アボリック酸料が皿、酸料による場合は、保牛は酸害用、補用「早用キロ」・4.2(2)の的良なび住能を有りることの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
2 建物概要	● 目 家 充 奄 液 直 奄 丸 方 ユ 二 田 3 線 ユ ● b. b K V ● 2 1 0 V	項 8 施 工 図 等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	発 機器類形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オーブン形 電 発電機(k V A 以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン	9 完 成 写 真 等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、
番号 建物名称 構造 階数 建数是##Lickる 並る面積(ml) 消防法施行令別表第一の区分 備考 1 管理事務所棟 RC 2 311.08 (15)項	 設 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製(● 本工事 ● 別途工事) 		監督職員の指示による。下記のものを提出する。 区 分 分類・規格 撮影箇所 部 数 電子データの提出
2 () I () I	備 ● 太 陽 光 発 電 装 置 モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ●		工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※ 1部 ● 部 ● 要 ● 不要
3 (())項	● 風 力 発 電 装 置 風 車 ● プロペラ形 ●		完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 ● 部 ● 要 ● 不要
	 ● 構内情報通信網設備 ● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 	10 完 成 図 等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
5 ()項	● 構 内 交 換 設 備 ● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線		区分 名称 部数 完成図<・原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ
3 工事種目 (③ 印の付いたものが対象工事種目)	● 情 報 表 示 設 備 ● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置		※ 完成図原図 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ
番号 1 2 3 4 5 屋外 備考	 ● 映 像 ・ 音 響 設 備 ● 増幅器 ● スピーカー ● ブロジェクタ ● スクリーン ● その他()) ● 拡 声 設 備 田 途 ● 一般放送 ● 部常放送 ● 個別放送 		※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 ※ 完成図(縮小版) ※ 2部
	通 ● 誘 導 支 援 設 備 ● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置		 ● 施工図 ● 部
●動力設備 ○ </td <td>信 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール</td> <td></td> <td>※ 完成図書 ● 完成図(縮小版) ※ 2部 ※ A 4 版市版ファイル ※ 主要機器図 ※ 2部</td>	信 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール		※ 完成図書 ● 完成図(縮小版) ※ 2部 ※ A 4 版市版ファイル ※ 主要機器図 ※ 2部
● 電 熱 設 備	^{III} ● テレビ共同受信設備 ● アンテナ(● UHF ● BS ● CS) ● CATV 報 - F R + /		 ● A 4 版黒表紙製本 ※ 試験成績書
● 雷 保 護 設 備 			※ 保守に関する指導案内書 ※ 2部
● 受 変 電 設 備 ● 電 力 貯 蔵 設 備	備 ● 防犯・入退室管理設備 機器(●本工事 ※ 別途工事) 配管(※本工事 ● 別途工事) 配線(●本工事 ※ 別途工事)		※ 機器取扱説明書 A 4 版ファイル ● 部
● 発 電 設 備 ●	▶ ● 自 動 火 災 報 知 設 備 ● 受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●		※ 主要機器一覧表 ※ 保証書 1 部
● 構内情報通信網設備			※ 官公署届出書類 1 部
● 構 内 交 換 設 備 	武 『		 ● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。
● 情報表示設備		11 他 工 事 と の 取 合 い	他 エ 事 と の 取 合 い 電気設備 機械設備 建 築
● 拡 声 設 備 ^信	中 制 ● 形 式 ● 警報盤 ● 素示操作盤 ● 監視制御装置 中 御 ● ● ● ● ●		● コンクリート壁、床、梁貫通部 補強 ● ● ※
●誘導支援設備 ¹⁷ 相	 ▲ W ● 監 視 制 御 対 象 設 備 ● 動力設備 ● 愛変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 視備 ● 伝 送 方 式 ● アナログ方式 ● デジタル方式 		スリーブ・箱入 ※ • •
● テレビ共同受信設備 設 ● 監視カメラ設備備 価			・ 鉄骨造の開口及び補強 ・ ・ ※ ・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共) ※ ・ ・
● 駐 車 場 管 制 設 備	構 ● 電 気 方 式 三相3線式(● 6.6kV ● 200V)		 ● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ※ ●
 ▶ 防犯・入退室管理設備 ■ ■	● 単相3線式100/2000 ● 単相2線式(● 1000 ● 2000)		 ● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の 仮 枠 ※ ● ●
	 ・● 施 エ 方 法 ・● 地中埋設式 ・● 架空線式		補強 補 強 ● ※ ● OA フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ● ● ※
 中央監視制御設備 医療関係設備 			切り込み※・・
●構内配電線路	構信 ●用 途 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV 内線		 ● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材 補強 ● ※
● 構 内 通 信 線 路	通路 ● 施 工 方 法 ● 地中埋設式 ● 架空線式		・自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ ・ ※ ・ 電気室、自家発電機室などの基礎及びピット(蓋を含む) ・ ※
 テレビ電波障害防除設備 	テ 波 除 レ 障 設 ● 対 策 方 策 ● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式(● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用)		・ 他然生、日本元を成生なこの差減及びとリー、 (三) と日の// ・ (二) と日の// ・ (二) ・ (
 ●機械設備工事 	ビ害備 ● 責 任 分 界 点 ● 各戸の保安器一次側 ●		 ● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ● ※
● 建 築 工 事	I.特記仕様		● テレビアンテナ 基 礎 ● ● ※ アンカーボルト ※ ● ●
			アンカーボルト ※ ● ● ● 天井点検口 ● ● ※
4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)	(1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、④印		 ● 自立型制御盤の基礎 ※ ●
◉ の付いたものを適用する。	の付いたものによる。 ④ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)		● 機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ※ ●
項目 特記事項	 ○ ムハシニネニ デite+ Lakel (地名)(地名)(地名)(地名)(地名)(地名)(地名)(地名)(地名)(地名)	10 天東田震古 北 その仲	屋上設置●● ● ※ ************************************
	● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)	12 工事用電力・水・その他 13 表 示 板	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する)
電 ●電 気 方 式 幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V	(2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。 (3)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。		※ 工事表示板 ● お願い表示板
灯 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式 100V 設 ● 非 常 用 照 明 器 具 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 電源 ● 電源別置形	(3) 機械設備工事及り建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及り建築工事はそれそれの標準位極書等及び監理指針を適用する。 2 特記事項		900 1,200
ix ● 非 常 用 照 明 奋 具 元服 ● LED ● 重元以 ●日照灯 電服 ● 電池内蔵形 ● 電源別直形 備 ● 誘 導 灯 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路	 (1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。 		建築工事中 (10.5.5) 御通行中の皆様へ (10.5.5)
	(2)特記事項のうち選択する事項は ● の付いたものを適用する。		
動 力 設 設 ● 電 気 方 式 幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V	 ● の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ● と ⑧ の付いた場合は共に適用する。 (3) 一般共通事項のうち (1,2,5,9,10,12,13,14,15,35) 〕 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。 		工事名 000000新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 O階建 724起号 SYR6.5/11 令和000年0月工事完成予定 724起号 SYR6.5/11
☆ 備 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)	項目 特記事項		基本価額COOOm2 簡単なバース、又は立面図を掲載する 工事期間 令和0年0月から0年0月まで (拡大カラーコビーを張り付けてもよい)
雷 雷 部 ● 突針 ● 棟上け導体 ● その他金属体 ()	内 ロ 1 中 内 1 官 公署 そ の 他 へ の 手 続 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。		22 - 2 整理者 ○○理検違条局建築住宅課 ○○○○○○○○該計 事業の目的
休 ● 選 部 ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 設 <td>2 電 気 保 安 技 術 者 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者</td> <td></td> <td>施工者 OOOOO2222 OOOOOO0000000000000000000000000000000</td>	2 電 気 保 安 技 術 者 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者		施工者 OOOOO2222 OOOOOO0000000000000000000000000000000
備 ● 接 地 極 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設	の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。		
● 電 気 方 式 高圧 三相3線式 6.6kV	 ー なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る 般 工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 		島取県OO総合事務所環境建築局 地色 白 建発生宅課 OO組当 連続先 OO-OOOO エ本邦間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解と
低圧 ● 三相3線式200∨ ● 単相3線式100/200∨ ● 単相2線式 (●100∨ ● 200∨			ご協力よろしくお願いします。
受 ● 契約電力 改修工事 既存設備● kW 変 新営工事●100kW未満●100kW以上500kW未満●500kW以上	4 工事安全計画書等 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 通 こ き サ サ の い だ		記入要領 1.書体は角ゴシックとする。 第1.書体は角ゴシックとする。 第1.書体は角ゴシックとする。 第1.書体は角ゴシックとする。 第1.書体は角ゴシックとする。 第1.書体は角ゴシックとする。
変 新営工事 ●100kW未満 ●100kW以上500kW未満 ●500kW以上 電 ●設備方式 ●屋外形	1 5 発生材の分析及び処理 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り() 事		1. 書体は内コンツジンとする。 5. た4 局辺条 自動業○の長名務所環境建築局 道秘策策半課 ○○回当 TEL 00-000
 設備 ●機器類 ●キュービクル式配電盤(●PF形 ●CB-1形 ●CB-2形) 			監督員が指示するものとする。
● 高圧スイッチギア、変圧器盤(CB−3形)	(● P C B 使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (● 配線用遮断機 ● 100000000000000000000000000000000000	14 足 場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行 法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式
変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB	PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 J2301993 サウステルペロック(第二)の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の第二の	/	より行う。
	撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 市部環境建築局 Check DRAWING 総尺	工事名称	図面番号
┃			理事務所トイレ洋式化改修工事 1 /
	鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号 低よ (佐藤) 日 R6.02	_{図面名称} 電気設備工	■ E - 3
Hampsama			NO

5 工事表示板 900			 ● お願い表示板 1,200 		
建築工事中 工事名 000000新築工事 構造:規模 鉄約コンクリート達 0開建 基<面積0000回2	— 地色 白 — 地色 Tンtが記号 SYR6.5/11		1,200 御通行中の皆様へ () 	- 地 マン+ 5YI	色 白 色 郎記号 R6.5/11
OOOOOO設計 施工者 OOOOOO2設計 連絡先昼間 OOOOOO2 液間 OOOOOOO 現場責任者 OOOOOO	1	1, 000	事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○	0000	
鳥取県〇〇総合事務所環境建築局 建築住宅課 〇〇担当 連絡先 〇〇一〇〇〇〇	一地色 白		現在の進捗率〇〇% 事業協力のお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますか ご協力よろしくお願いします。	、ご理解と	
-領 #体は角ゴシックとする。 5願い表示板は平易な表現及び内容	، ٤٤٤،		施工者 0000000 進絡先 TEL 00-0000 発注者 鳥取民 連絡先 鳥取県00総合事務所現 連絡光 鳥取県00総合事務所現 正任 00-0000	- 12	色白
			置に当たっては、同ガイドラインの別 手すり据え置き方式又は(3)手すり		
				図面番号	

トイレ洋式化改修工事	図 曲 番 亏 1 /
様書 (1)	E-3

16 土 工 事 埋 11 電 線 類 本 11 電 線 項 点 11 電 線 項 点 11 電 線 項 点 12 電 線 項 一 13 電 線 本 四 19 屋 外 第 日 20 需出配管の塗装(付属品含む) 空 2 21 波付硬賃合成樹脂管(FEP) 次 (1) (2) フラッシュブレートの表示 シー シー 24 ブルボックスの塗装 ス ス 25 耐 震 流 40 二 二	(内につくることが ※ できる ・ できない ● め 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ・ 山砂の類(12数年土の処理 ・ 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし に工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するもの M電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で パイレーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたも (内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものに ハーネスジョイントボックス用OAタッブのケーブルはハロゲン及び鉛を 電盤、制御盥、端子盤などの2次側以降の配縁経路、電線太さ、電線和 してもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 装する部分 ・屋上 ・屋側 ・屋外 ・廊下 ・ 機械室 に付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製	ひとする。 (構成されたものとする。 (のとする。 は除く。 合まない材料とする。 -数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 と上げ [めっき付着量 300g/㎡以上]と	(3)補修など (3)はつり (3)はつり工事における非破壊検査 (3)なり (3)なり (3)ないり (3)ない (4)ない (3)ない (3)ない	 工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ● 1)施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置 	拡 声 設 備	1 音 声 誘 導 装 置	形式(●卓上形 ● ラック形) 5 ・ 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボック 検出方式(●磁気方式 ● 無線方式 受信機(●型級) 回線(蓄積型)	 画像認識方式)
1)電線類 建語 1)電線類 第二 1)電線 第二 20 第出配管の塗装(付属品含む) 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 22 フラッシュブレートの材質 23 カバーブレートの表示 24 ブルボックスの塗装 25 施工	設発生土の処理 ・構外に搬出し適切に処埋 ※構内敷きならし に工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するもの M電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で 信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたも は内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものに ハーネスジョイントボックス用OAタッブのケーブルはハロゲン及び鉛を 電盤、制御盥、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本 してもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 だ付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	 構内の指示する場所に堆積 とする。 構成されたものとする。 のとする。 ()のとする。 ()()は、 ()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	- 32)はつり工事における非破壊検査 般 33 あと施工アンカー 共 通 事 項 34 室内空気中の化学物質の濃度測定	探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ● 1)施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	誘導	1 自 動 火 災 報 知 設 備	検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式	 画像認識方式)
- 他 (13)電線本数・管路等 (13)電線本数・管路等 (13)電線本数・管路等 (14) 屋外露出配管の仕上げ (15) 屋外露出配管の仕上げ (15) 屋外露出配管の仕上げ (15) 屋外露出配管の仕上げ (15) 屋外 (15) 屋か (15) 〇 (15) 〇 (15	M電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で 信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたも (内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したもの): ハーネスジョイントボックス用OAタッブのケーブルはハロゲン及び鉛を 電盤、制御盥、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ にしてもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 「装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。) 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	:構成されたものとする。 (のとする。 は除く。 そ含まない材料とする。 ○数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 と上げ[めっき付着量 300g/㎡以上]と	共 通 事 項 34 室内空気中の化学物質の濃度測定	試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	誘導	1 自 動 火 災 報 知 設 備		
- 1 般 13 電線本数・管路等 21 次付硬質合成樹脂管(FEP) 項 (2) 写いシュブレートの材質 (2) フラッシュブレートの表示 23 カバーブレートの表示 24 ブルボックスの塗装 25 耐震施工設的	信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたも (内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特部したものに ーネスジョイントボックス用OAタッブのケーブルはハロゲン及び鉛者 電盤、制御盥、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ してもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさせ る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	のとする。 (除く。 合まない材料とする。 -数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 た上げ [めっき付着量 300g/㎡以上] と	項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜きカ以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	文 1 <u>後</u> 12 火	1 自 動 火 災 報 知 設 備	受信機(●型級回線(蓄積型)	● 複合形 ● 単独形)
- 般 19 屋外露出配管の仕上げ 屋外 通 20 露出配管の塗装(付属品含む) 空調 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波付 (2) フラッシュブレートの材質 ④ 23 カバーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 ス等 25 耐 震 施 工 設備	内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものに →ネスジョイントボックス用OAタッブのケーブルはハロゲン及び鉛者 電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ にてもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた -る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	1時く。 合言ない材料とする。 -数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 上上げ[めっき付着量 300g/ml以上]と	項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	12 火			● 彼口心 ● 単独心 /
- 18 電線本数・管路等 分子 共 19 屋外露出配管の仕上げ 屋外 通 20 露出配管の塗装(付属品含む) 空調 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波付 (2) フラッシュブレートの材質 ④ 23 カバーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 ステ 25 耐震施工設約	 ヘキスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛き 電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ してもさしつかえない。 が露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (村硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製 	そ言まない材料とする。 -数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 -上げ[めっき付着量 300g/㎡以上]と	項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7		火災		 防火戸用(※ ラッチ式) 電磁式) 	
 般 (1)電線本数・管路等 分報 更(更(更(更(更(更(更(更((2) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7)<td>*電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ [してもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製</td><td>、数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 と上げ [めっき付着量 300g/m[*]以上] と</td><td>項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7</td><td>対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置</td><td>1 22</td><td></td><td> 防煙ダンパー用(※電動復帰 </td><td>動復帰)</td>	*電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線オ [してもさしつかえない。 外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっさた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	、数、管径などは監督職員の承諾を受けて変 と上げ [めっき付着量 300g/m [*] 以上] と	項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	1 22		 防煙ダンパー用(※電動復帰 	動復帰)
 般 サ 車 20 露出配管の塗装(付属品含む) 塗装 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波(項 (22) フラッシュブレートの材質 (23) カバーブレートの表示 シー24 ブルボックスの塗装 スキ 25 耐震施工設約 	してもさしつかえない。 約3番出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっきた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 な付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。) 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	上げ[めっき付着量 300g/㎡以上]と	項 項 3.1 至1.1 至2.4 4 5 10 7 10 9 6 2 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7		報知		 防火シャッター用(※別途工事 	
共 19 屋外露出配管の仕上げ 屋外 通 する 事 20 露出配管の塗装(付属品含む) 塗装 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波信 (2) フラッシュブレートの材質 ④ 23 カバーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 ス 25 耐震施工 設約 者の 者の	外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっきた る。 装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 (付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。) 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製		35 火 災 保 険 等	実施する。	荷	3 ガス漏れ火災警報設備	検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)	
通 する 事 20 露出配管の塗装(付属品含む) 塗装 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波付 (22) フラッシュブレートの材質 ④ 23 カパーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 スー 25 耐震施工 設約 者の 者の	る。 装する部分 ・屋上 ・屋側 ・屋外 ・廊下 ・ 機械室 対硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製			工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。		1 45 7 7 7 12	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある	
a 20 露出配管の塗装(付属品含む) 塗装 事 21 波付硬質合成樹脂管 (FEP) 波付 (2) フラッシュブレートの材質 ④ 23 カパーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 ス= 25 耐 震 施 工 設設 者の 者の	送する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 は付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	 ● 居室() 		(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで [概ね工期+21日] とする。)				る場合は四金1 3000以上とする。 各 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)
 事 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 波((22) フラッシュプレートの材質 ・ 23 カパープレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 スキ 25 耐 震 施 工 設録 	イ付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。)金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製		36 鳥取県公共事業環境配慮指針			2地中箱		県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持
項 (22) フラッシュプレートの材質 23 カバーブレートの表示 24 ブルボックスの塗装 25 耐震施工設 者の	 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製 		37 建築物省エネ法	※ 対象工事			 ホールに準じて行う。アスファルト舗装面に(使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
23 カバーブレートの表示 シー 24 ブルボックスの塗装 スキ 25 耐 震 施 エ 設(者の			1 照 明 器 具	 LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 	13	3 高 圧 負 荷 開 閉 器	 ● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) 	● 地絡継電器付(※ 方向性 ● 無方向性)
24 ブルボックスの塗装 ス÷ 25 耐 震 施 エ 設() 者の	ール等を貼付し、用途を表示する。			LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)	構		 ● 避雷器内蔵 	
者(、テンレス製プルボックスの塗装 ※無(素地仕上) ●有(指定	(色仕上)	2 一般照明の照度測定	測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)	内配		※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属す	
	備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、	重量1 k N以下の一般機器について、製造	3 非常用照明の照度測定	※ 設置した各部屋 2 箇所以上 •	電線	4高圧ケーブルの端末部		熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
1)	の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。		灯 4 照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職	路	5 高圧ケーブルの屋外端末処理 6 標 識 シ ー ト	 ● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧 	
i)機器の据付け及び取付け		喪	員の指示による。		7 照 明 用 ポ ー ル		能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵
li al	設計用水平地震力は、機器重量 [k N]に、地域係数と次に示す設計用	標準水平震度を乗じたものとする。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	照度測定時期 100%点灯時(※夜間 ● 昼間)		7 Mill 20 Mill 11 Mill 20	だし、ガーデンライトは除く。	
		・ 一般の施設	備	調光制御点灯時(※ 夜間 ※ 昼間)	14	1施工方法	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある	
	設置場所 機器種別 重要機器	子 一般機器 重要機器 一般機器	2.1機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	構内		● GL-600以上(●	•)
	上 層 階 # 5 5 5 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	1.5 1.0	動力 設備		信	2地中箱	蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取り	県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持
	屋 上 及 び 塔 屋 防振支持の機器 2.0		1+4443		- 路		ホールに準じて行う。アスファルト舗装面に	使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
	水 槽 類	1.5 1.0	3	 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 構造体利用接触極 ロ判接地極 		3標識シート	 ・データ回線 ・電話 ・CATV 	•
	機器 中間階 防振支持の機器 1.5	1.0 0.6 1.5 1.0	豊 「 礎 と 11 部 画 体護設 価 接地 システム	 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極 	-	1調査仕様	 図面に記載されていない事項は すべて (社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調
			1 変 圧 器 移 動 車 輪		15			(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の
	水 槽 類 機 器	1.0 0.6 0.6 0.4	4 2 ビ 谷 杉 助 半 福 4 3 受変電 2 デ マ ン ド 監 視 装 置		トレゴ		を受けるものとする。	
	地下及び1階 1.0				電	2 テレビ電波受信障害調査時期	※ 事前 ● 中間 ※ 事後	
	水槽類 1.5	1.0 0.6			受信	3 受信する受信波及び地点数	中継局 波: 地点	
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階		5 1 交 流 無 停 電 電 源 装 置	停電補償時間 (分)	障害		中継局 波: 地点	
	中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの		電力貯蔵 (UPS) 設 備	方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)	調査	4 報 告 書 提 出 部 数	※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事	後 3部
	水槽類には燃料小出槽を含む				-	1 機器取付高		
1	重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ●	直流電源装置 ● UPS装置	1 自 家 発 電 装 置	運転時間(h) 系統連系(●高圧連系 ●高圧受電低圧みなし連系 ●低圧連系 ●無)	1	機器取付高は下記を標準とする	。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用	用に支障がある場合は監督職員と協議する。
	● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信約		 ディーゼル発電装置 	出力(kW) 配電盤外箱(● 有 ● 無)		名称	測点 取付高(mm)	名称 測点 取付高(m
)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同		 ガスエンジン発電装置 	保安装置(重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要)			地上~窓中心 1,800~2,000	表示盤 床上~中心 天井高×
) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については いた。(() 時) ロナ港第 にいた。) たききにする	は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	 発 ● ガスタービン発電装置 	滅圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)		力 引込開閉器	地上~中心 1,800~2,200	· 壁付発信器 // 1,300
	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 地極の材料は次による。		電 ● 熱 併 給 発 電 装 置	オイルタンク (● 地下 ● 屋内)		<u>آ</u>		夜 ベル、ブザー、チャイム パ 2,300
	120년の0月7日は次による。 接地の種類 記号 接地抵抗値	接地極	. 設●燃料電池発電装置	据付:機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))		分電盤・〇A盤・実験盤	床上~中心 1,500(上端1,900以下)	- 受付押ボタン (一般) パ 1,300
	●共同接地 E _A E _D 10Ω以T		備	燃料小出槽(いい):返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。		スイッチ	" 1, 300	· 電源箱 床上~下端 300
	 共同接地 E_AE_cE_D 10Ω以T 			材質(● 鋼板製 ● ステンレス製)	16	" (多機能トイレ)	" 1,100	
e		EB×3連-2組		燃料油等(●灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス())		コンセント(一般)	" 300	
•	● В 種 E _B ΩIJT			排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口(●設ける ●設けない)	そ	電 // (和室)	" 150	外部受付用インターホン(子機)標準図による
•	● C 種 E _c 10Ω以T	EB×3連-2組	2 + 限 + 発 雪 柱 署	掠気ガスに含まれる窒素酸化物(以下) 運転音(d B以下) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)		// (台上)	台上~中心 150	壁付インターホン(上記以外) 床上~中心 1,300 誘
•	• D 種 E _D 100Ω以下	EB×1		公称最大出力(kW) 耐風速(m∕s)	Ø	// (土間)	床上~中心 800~1,300	·························
•	●高圧避雷器 <mark>Ε</mark> ∟н 10Ω以下	EB×3連-2組		パワーコンディショナ(相 線式 V) 定格容量(kW)			// 900 // 2,100~2,300	支 壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用 " 300
•	●交換機用 E _t Ω以T	EB×3連-1組		自立運転機能 (● 有 ● 無)	他	灯 ブラケット (一般) (踊場)	<i>"</i> 2, 000~2, 500	援
•	●通信用 Ε _{Αt} 10Ω以下	EB×3連-2組		表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●)		// (踊场)	鏡上端~中心 150	
	 通信用 Ε_{Dt} 及び Ε_{Da} 100Ω以下 		3風力発電装置	系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)		(97-1/		機器収容箱 天井下〜上端 200
	 電話引込口の保安器用 E L t 100Ω以下 		1 5 16 22 9	』 局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイヤルイン方式	-	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500(上端1,900以下)	テレビ端子 床上~中心 300
	● 測 定 用 <mark>E</mark> 。 -	EB×1	1交換装置 	 □ 向線心合力式 (● 向線甲継合力式 ● 分散甲継合力式 ● ダイヤルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 		動 手元開閉器	" 1,500	ビ 共 "(和室) " 150
] 7	● ライレッドインライドルカム ● ライレッドインラインカム) 停電補償時間 (分)		カ 操作スイッチ	" 1,300	回 受 浸
	(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1		、構 2保安器用接地					信 1,500
	(E _D , E _D , E _D), E _D , E _L , E _D の場合、EBはD=10 L=1000			 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 		端子盤	床上~下端 300	受信機・副受信機 床上~操作部 800~1,5
	(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 テンレス型またけ細材に変融亜鉛メッキを施したものとする	レー 1 と U U ど 9 る)	交 4 回 線 数			構保安器箱	天井下~上端 200	火 機器収容箱 " 800~1,5
	-テンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。 -気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露即	ことの理を行う。	換 5 電 話 機	 ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 		ロックロン ロット 日本	床上~中心 300	災 発信機 床上~中心 800~1,5
	·共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1		豊先	 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 		換 (和室)	" 150	報 ベル 天井下〜上端 200
	ステレース (ステレー) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		備 6 電 話 機 へ の 配 線	卓上電話機1台につき次のものを見込む。				知 表示灯 " 200
	21177111111111111111111111111111111111	処理を行う範囲		 ● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●)(※15m ●) 		電 壁掛形親時計 気 マローコ	床上~中心 1,500 (上限1,900以下)	
		べった とう ノ 和田		● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 1 5 m ●)		子時計 計	" 天井高×0.9	ガ ガス漏れ中継器 天井下~中心 300
				● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)			床上~中心 天井高×0.9	ス 検知器(都市ガス) 天井下~下端 300 検 "(LPガス) 床上~上端 300
		毎するものとする。		● I P電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●)(※15m ●)		拡	床上~中心 天井高×0.9 // 1,300	検 "(LPガス) 床上~上端 300 知
	※ 常有肥成の口桐原ム寺に床る肥工来省の豆球耐度による豆球来省とん で 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、		. 1マルチサイン装置	イメージスキャナ(● 設ける ● 設けない)	1		.,000	
	関する法律、石綿障害予防規則、烏取県石綿健康被害防止条例等の周		8	制御装置(●壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)		 2 工事のため送電線及び配電線 	の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡	まし、事故防止に努めるものとする。
•	施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。		報	呼出機能(●有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ●)		[. 機 材		
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定	『方法』による。	│ ³ ☆ │ 3 時 刻 表 示 装 置 設 │	親時計(・壁掛形 回線・ラック形 回線)	東	工事に使用する機器及び材料は、図	回に仕様等が明記してあるものを除き、原則と	して標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行
•	アスベスト粉じん濃度測定を行う。		備	太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)		材料・設備機材等品質性能評価事業		
	(測定時期: 測定場所:	測定点:)		令和5年	#度	ただし、盤類は上記によるほか以下		
	洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。		9	光出力(● I形 ● I形 ● I形 ● I形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形) J23019	93	㈱永井電機工業		木電機産業
	作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、タ	▶部への粉じん飛散を防止する。	映像音響 設 備	コントラスト比(• X形 • Y形) 西部環境建	築局/	7 小林制電		ナートメーション
	対象箇所(勝英產業	(称) (有) 増 岡	引電機製作所
		── ▲▶ 有阻	会社 14 山			^{工事名称} 賀祥ダム管3	理事務所トイレ洋式化改修工事	図面番号
			鳥取県米子市両三柳72			図面名称		E —
			一級建築士事務所 登録第05	- 1356号 山 R6.02	2		事特記仕様書(2)	

